

防災活動事例集



令和6年3月
茅ヶ崎市防災対策課

はじめに

地域防災活動の必要性

いつ発生してもおかしくないといわれている**巨大地震**や大規模な**風水害**などから、自分や家族の命、地域を守るためには、日頃から様々な備えや十分な対策を講じておかななくてはなりません。

大規模な災害が発生した直後では、救出救助をはじめ、行政からの十分な支援は、地域のもとにすぐに**届かない**ことが想定されます。

そのため、災害による被害を最小限におさえるためには、自分や家族を守るための備えや行動をとる**自助**の取り組みと、普段から顔を合わせている地域や近隣の人々が集まって、互いに協力し合いながら防災活動に取り組む**共助**の取り組みが非常に重要となります。

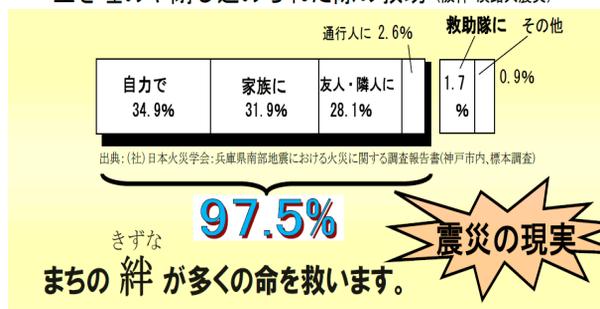


共助が重要な理由

阪神・淡路大震災では、生き埋めや閉じ込められた人の**97.5%**は自力や家族、友人・隣人等の**地域の力**によって救出されました。（右図）

このように発災直後には、家族や隣近所による救助活動が重要です。

生き埋めや閉じ込められた際の救助（阪神・淡路大震災）



自主防災組織の目指すべき姿

○地域住民一人ひとりが、**災害から自分の身を守るための備え**が十分にできている。

○自主防災組織や防災リーダーが、**地域の課題や特性を踏まえた減災活動**に取り組んでいる。

○災害時に、**隣近所の住民がお互いに助け合う**ことができるような**関係が構築**されている。

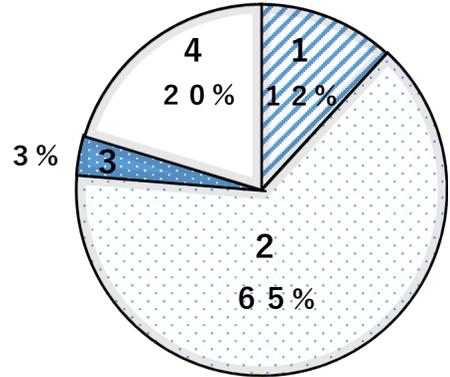
～地域が抱える悩みや課題～

自主防災組織の活動に関するアンケート（抜粋）

※令和元年度実施（選択式アンケート）

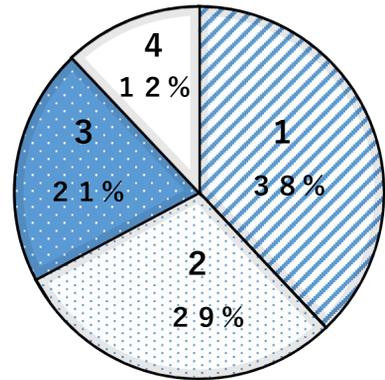
自主防災組織活動の課題について

- 1 具体的な活動内容やそれに向けた平常時の取組内容が分からない。
- 2 活動する人材が不足している。
- 3 活動に必要な資機材が不足している。
- 4 その他
 - ・活動内容や平時の取り組みを理解していない
 - ・いずれも不十分／無関心
 - ・活動についてわからないことが多い など



防災リーダーについて抱えている課題について

- 1 防災リーダーのなり手（研修会の参加者）が確保できない。
- 2 継続して活動できない（しない）防災リーダーが多い。
- 3 防災リーダーの知識や技術の維持向上ができない。
- 4 その他
 - ・防災リーダーの位置づけが曖昧
 - ・防災リーダーの高齢化／若年層が増えない
 - ・防災リーダーの活用がうまくできていない など



自主防災組織会長や防災担当者の方などの声

- 継続した自主防災活動に課題を感じている
- 他の組織は、平常時にどのような防災活動をしているのか
- 防災リーダーとして、平常時にどのような活動をしてもらえばよいか分からない
- 防災リーダーのなり手がいない
- 若い人の参画が難しい
- 他の組織が、どんな防災資機材を購入しているのか知りたい
- コロナ禍で防災活動が思うようにできていない



～活動事例集～

地域で抱える悩みや課題の解決には、同じ課題を共有する他の地域の取り組みがとても参考になります。

本書（活動事例集）を参考に、他の組織の取り組みを知り、新たな取り組み方法や、様々な課題解決に向けたヒントを得て、地域の防災活動に役立てていただきたいと思います。



自主防災組織

自主防災組織

自主防災組織

自主防災組織

取り組み事例等の提供

(市)
自主防災組織活動事例集

参考

自主防災組織

実行

地域の課題や特性を踏まえた効果的な防災活動の実施

地域防災活動の活性化



本事例集で掲載されている事例は一例で、市内には、この他にも様々な取り組みが行われています。

市では、今後も、本書の内容を適宜更新し、新たに事例を追加し掲載していきます。皆様の活動が他の地域の活動を支え、市域全体の防災活動促進につながります。引き続き、活動事例の募集にご協力をお願いします。

防災活動事例の募集

防災活動事例集を作成するにあたり、茅ヶ崎市内135組織の自主防災組織会長へ4つの視点について事例募集を行い、その内容を基に関連する取り組みをいくつかのグループに分け紹介しています。（基本的には、回答いただいた文章のまま掲載しています。）

・・・目次・・・

1. 自主防災組織として活動していること …… 6ページ

組織力向上のための体制作りに取り組む事例が多く紹介されています。
また、多くの組織で避難行動要支援者の対策に取り組んでいることが伺えます。

- (1) 住民啓発活動 …… 18ページ
- (2) 訓練・研修 …… 20ページ
- (3) 広報・情報共有 …… 23ページ
- (4) 組織力の向上 …… 24ページ
- (5) 要支援者 …… 28ページ

2. 防災リーダーとして活動していること …… 32ページ

防災リーダーの平素の活動として、防災訓練や研修、資機材の取扱いなどに関する事例が多く紹介されています。

- (1) 住民啓発活動 …… 42ページ
- (2) 訓練・研修 …… 43ページ
- (3) 防災資機材 …… 46ページ
- (4) 組織力向上 …… 47ページ
- (5) 要支援者 …… 50ページ
- (6) 災害予防活動 …… 51ページ

3. 整備している資機材のこと …… 52ページ

災害時の本部活動強化を目的とした資機材を整備している組織が多く、
また、資機材の維持管理にも力を注いでいる事例などが紹介されています。

- (1) 維持管理 …… 58ページ
- (2) 本部活動 …… 61ページ
- (3) 避難対策 …… 64ページ
- (4) 生活支援 …… 66ページ
- (5) その他 …… 67ページ

4. コロナ禍で新たに取組んだこと、工夫していること …… 68ページ

コロナ禍で多くの規制があるなか、非対面式での訓練や会議などを実施している事例が紹介されています。

また、会議や打合せなどにWebやSNS等を活用していることも伺えます。

- (1) Web・SNS等の活用 …… 74ページ
- (2) 工夫した会議・打合せ等 …… 76ページ
- (3) 工夫した訓練・住民啓発等 …… 77ページ
- (4) その他 …… 80ページ

令和4年度 自主防災組織活動事例共有研修会

防災に関する活動事例を共有することで自主防災組織の活動の更なる向上につなげていただくため、「自主防災組織活動事例集」や防災リーダーの減災活動に関する取り組み等について、防災活動事例を発表していただきました。発表していただいた組織は次のとおりです。

- 茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会「防災リーダー協議会の活動」
- 浜須賀自治会自主防災組織 「防災ボランティア制度」
- 浜之郷自治会防災会「ホームページに防災情報を掲載」

令和5年度 防災活動事例追加募集とみんなの防災展

令和5年度に防災活動事例の追加募集を行い、いただいた防災活動事例や地域での防災の取り組みを共有するために「みんなの防災展」を開催しました。みんなの防災展は、参加者が自由に質問や意見の交換、取り組みの共有ができるようにブース形式とし、自主防災組織で備えている資機材等の取扱いや自主防災組織等の減災活動に関する活動事例等を共有しました。他の自主防災組織を知ることによってそれぞれの地域の活動促進を図り、課題を共有することで地域のつながりの向上を図ることができました。

・・・目次・・・

令和5年度 防災活動事例追加募集とみんなの防災展

| | | | |
|----|-----------------------------|-------|--------|
| I | みんなの防災展 | | 82ページ |
| II | 防災活動事例追加募集 | | 96ページ |
| | 1. 自主防災組織として活動していること | | 97ページ |
| | 2. 防災リーダーとして活動していること | | 99ページ |
| | 3. 整備している資機材のこと | | 101ページ |
| | 4. コロナ禍で新たに取り組んだこと、工夫していること | | 102ページ |

1 自主防災組織として活動していること



防災活動事例紹介

子どもと一緒に火の用心巡回を実施

地区名：湘北地区

組織名：松風台自治会防災会

自治会加入世帯：578世帯

令和4年3月作成

活動内容

松風台は、火災のクラスター地域に属しているため、大規模災害時に火災が発生した場合、甚大な被害が想定される地域です。

そこで自治会・防災会のメンバーを中心に、子どもから大人まで一丸となって、火の用心巡回を実施しています。

コロナの影響により昨年度は中止となりましたが、今年度は防災会の有志により実施しました。

この他にも、家庭用消火器や住宅用火災警報器の設置について住民に周知を行うなど、火災をとにかく出さないことを重点に活動しています。



活動のポイント



「ここはふるさと松風台」をスローガンにして、地域を盛り上げるために、子どもたちも参加できる色々なイベントを開催しています。火の用心巡回は、その中のひとつです。子どもたちが楽しんでもらえるように、巡回後にお菓子を食べながら話し合いをしています。

HUG（避難所運営ゲーム）を実施

地区名：茅ヶ崎南地区

組織名：茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会

令和4年3月作成

活動内容

茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会は、茅ヶ崎南地区の6つの自主防災組織の防災リーダーの代表からなる協議団体です。

茅ヶ崎南地区では、令和3年度に地区防災訓練でHUG（避難所運営ゲーム）を実施する予定でしたが、コロナの影響により中止となりました。

そこで協議会のメンバーが中心となり、自分達だけでHUGを行いました。

初めての試みであったため、不十分な点はありましたが、避難所運営を疑似体験することで、実際に直面しそうな様々な問題を考えることができました。



活動のポイント



令和3年度茅ヶ崎市防災リーダーフォローアップ研修の指導者育成講座（HUG）に参加した受講者が運営を担う形で準備を進めました。

広い会場を確保し、出席者の人数を最小限にするなど感染症対策を十分に講じたうえで実施しました。今後は、実際の小学校の図面等を活用し、地域の実情に合わせたリアルなHUG訓練を行いたいと思います。

災害時一時避難所の確保

地区名：海岸地区

組織名：東海岸南一丁目自主防災会

自治会加入世帯：536世帯

令和4年3月作成

活動内容

東海岸南一丁目は、指定避難所となる東海岸小学校や第一中学校まで距離があり、避難行動要支援者の避難支援対策の取り組みを進めていく中で、避難所までの距離という課題がありました。

近隣の恵泉幼稚園さんにこうした地区の課題を相談したところ、災害時に一時的な避難場所として、避難行動に負担がある方々を限定する約束で、ホールを解放していただくこととなりました。

また、地区ボランティアセンターも同様に、施設管理者や、市の福祉政策課とも協議し、災害時の一時的な避難場所として使用させていただけることとなりました。



～海岸地区における避難行動要支援者名簿の活用の流れ～

避難行動要支援者名簿を受領



要支援レベル（A～E）を定めた避難行動要支援者マップを作成し、自治会長と民生委員が保管・共有

5つに分類

- A 安否確認後、家族又は近隣の方と自力歩行で避難及び避難所へ行ける方
- B 安否確認後、杖等を使用し階段の昇降を含め1～2名の支援が必要な方
- C 安否確認後、自力での歩行が困難であり家族以外3名以上の支援が必要な方
- D 安否確認後、避難所等での生活が困難で福祉避難所又は病院等への搬送が必要な方
- E 施設入所のため、支援は必要なし



個別支援計画を作成するとともに、日頃の見守りは民生委員が主に行い、必要に応じて自治会役員も同行又は単独で訪問を実施

防災活動事例紹介

防災ボランティア制度の推進

地区名：浜須賀地区

組織名：浜須賀自治会自主防災部会

自治会加入世帯：763世帯

令和4年3月作成

活動内容

浜須賀自治会は、防災リーダーの大半が70歳代と高齢で有事における防災体制が脆弱なことや、防災に携わる者の後継者不足が課題となっていました。

そこで自治会執行部・自主防災部会が中心となり検討を進めた結果、令和3年度より、地域防災力向上を目的とした「防災ボランティア制度」を新たに導入しました。

この防災ボランティアは、一般住民より選出し、主な活動は大規模地震時の安否確認等です。

各組（1～11組）より1～2名を任期1年で数年かけてボランティア経験者を増やすことで、いざという時に、地域が一体となって、住民への声掛けや安否確認などが行われる地域づくりを目指しています。



浜須賀自治会 2021年12月
防災通信 34号

防災ボランティアが誕生しました

今年の6月頃から回覧や組長会議を通して「防災V（ボランティア）」を各組より選出してくださいとお願いして来ました。10月の組長会議までに12名の方が応募してくださいました。

【防災Vって何？】
震度5弱以上の大規模な地震が発生した時に、主に自分の居住する組で活動し、災害による犠牲者を極力出さないために活動して貰うボランティアさんです。その任期は原則1年で継続も認めています。これは毎年各組より1～2名の防災Vが誕生し災害に対するある程度の知識や意識を持った方が増えていけば数年後には数十名の防災V経験者が地域に根付くことを目的としています。



【防災Vは何をするの？】
災害時にはその規模や種類によって、地域での活動は多岐に亘ります。防災Vには主に「在宅者の安否確認」をお願いする予定です。古い家屋にお住まいの方は家屋の倒壊や家具の転倒などで「閉じ込め」られることが想像できます。これは自治会全エリアで起きることで当然、多くの人数が必要です。ここを防災Vが担当します。勿論、災害時には他にもやる事が沢山あると思いますが、防災Vがご自分の組を主に活動して貰えれば災害対策本部では他の事に集中できます。つまり分業化する とご理解してください。



活動のポイント

【目指す浜須賀自治会の防災体制】



防災に関わる垣根を低くして、誰でも気軽に参加して欲しいという思いで、自治会を挙げて募集をかけたところ、12名の方がボランティアを引き受けてくれました。任期は1年としていますが、継続も認めており、ゆくゆくは、防災リーダーなど地域防災に深く携わっていただくことが願いです。

成果はこれからですが、防災は一部の人が担当するのではなく、自治会、防災組織、民生委員、地域住民が一体となって取り組む姿勢がとても大切であると考えています。

防災活動事例紹介

民生委員と防災リーダーが情報を共有

地区名：湘南地区

組織名：柳島自主防災会

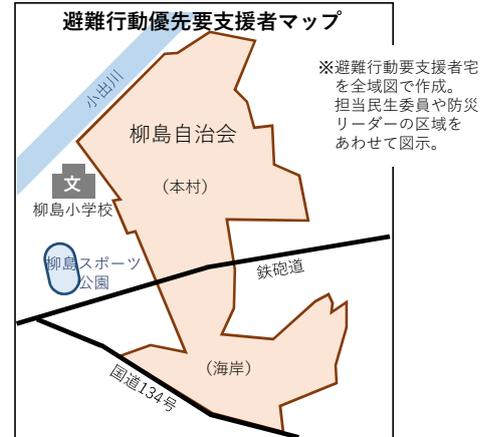
自治会加入世帯：1690世帯

令和4年3月作成

活動内容

柳島自治会では、令和元年台風19号の際、避難行動要支援者の避難対策がマニュアル通りに実施出来なかったことや、民生委員との情報共有不足などが課題として浮き彫りになりました。こうした課題を受け、平素から民生委員と防災リーダーが要支援者の情報をしっかりと共有し、災害時に現状の組織、人員で適切に避難所まで避難させるシステム作り着手しました。

具体的には、避難行動要支援者（160名）の中から、更に支援が優先される独居等の方を避難行動優先要支援者（24名）として民生委員の区画に仕切り、対象マップを作成します。災害時には、このマップを基に民生委員と防災リーダーが協力して、優先要支援者の避難行動支援にあたることとしています。こうした一連の取り組みにより、民生委員と防災リーダーの顔の見える関係性が構築され、相互の協力体制が確立されました。



活動のポイント



民生委員とは、情報共有の他にも、洪水を想定した避難訓練等を協力して実施するなど、さまざまな活動で連携を図っています。今後は、避難優先要支援者に対して個別避難ルートの作成や、二階建ての人への垂直避難の事前確認など、更なる避難支援体制を強化していく予定です。

また、カラオケ大会などの地域イベントの終わりに、5～10分程度の防災動画を住民に視聴していただくなど、地域一体となった防災の周知・啓発にも力を注いでいきたいと考えています。

(1) 住民啓発活動**① 自助の取組支援**

| | | |
|--|---------------------|---------------|
| 1 | 感震ブレーカーの取り付け | 共恵海岸通り自治会防災会 |
| 4年前から、茅ヶ崎市の補助金をいただいて感震ブレーカーの取り付けを進めています。今年1月の段階で自治会員全約480世帯のうち72%の世帯に取り付けが完了しました。今年度も約20個の取り付けを予定していますが、取り付け可能な世帯のほぼ全てに取り付け済みとなりますので、今年度でこの事業は終了する予定です。 | | |
| 2 | 感震ブレーカーの継続取付 | 東海岸北二丁目自治会防災会 |
| 感震ブレーカーを5年間取付。(コロナ期間中は休止)今年からは主に新型タイプを取付開始予定。 | | |
| 3 | 住民の自助の力を強くする働きかけの実施 | 柳島自治会自主防災会 |
| <p>自主防災会の共助の役目として、住民が緊急時、自分で判断、行動できる状態を作る。平常時の活動としてスマホで茅ヶ崎市公式ホームページから災害情報取れること、避難所情報を「VACAN」で取れることを住民に伝える。</p> <p>○回覧で手順書を伝える。(スマホ・パソコンから)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホで茅ヶ崎市公式ホームページ〉茅ヶ崎市トップページ〉防災〉避難所の開設や混雑の情報を配信します〉避難所の開設・混雑情報配信サービス「VACAN」〉避難所状況が表示、二次元コード表示。 ・茅ヶ崎市LINE友だち追加方法。 | | |
| 4 | 【★】火の用心巡回 | 松風台自治会防災会 |
| 松風台は火災のクラスター地域に位置しており、各家庭が火元にならないというのが一番の防災です。子どもたちにも参加を呼びかけ、巡回後はお菓子を食べながら巡回体験について話し合っています。 | | |
| ② イベント等の開催 | | |
| 5 | イベント企画 | 共恵東自治会防災会 |
| 地域のイベントとして地引網・盆踊りを隣の自治会と協同企画し、相互のコミュニケーションを図る。 | | |
| 6 | 防災訓練参加者増を図る | 浜竹一丁目自主防災会 |
| 若い世代の参加を促すため、①子供と一緒に参加できる防災訓練、②子供を預かれる子供工作教室を同時に開催、いずれも参加者が増えた。 | | |
| 7 | 楽しく子どもも参加できる企画 | 出口町自治会防災会 |
| 新しくできた出口町公園を利用して炊き出し訓練を行い、地域のイベントとして実施予定だが、コロナの件もあり、まずは防災リーダーによる湯沸かし訓練とした。 | | |
| 8 | 防災訓練での非常食食べ比べ企画 | 松が丘ハイツ自治会防災会 |
| 当防災会としては、インフラがダメージを受けた時のために、防災備品備蓄の必要性を常に訴えており、年1回の防災訓練時には、訓練参加者を増やすことも目的に、災害時に必要な非常食の食べ比べを行い、災害時の体験として経験してもらっている。 | | |

③ アンケートの実施

| | | |
|---|------------------|------------------|
| 9 | 自治会員の防災対策状況調査 | 藤和茅ヶ崎ハイタウン自治会防災会 |
| 自主防災組織の行動計画を見直すため、家具の転倒防止や備蓄状況など自治会員の防災対策の現状についてアンケートを実施する。 | | |
| 10 | 住民全員対応の防災アンケート実施 | 浜見平団地自主防災会 |
| 私の「避難計画」を全住民対象にアンケートを実施している。 | | |



(2) 訓練・研修

① 防災訓練

| | | |
|--|---------------|------------------|
| 11 | 防災訓練の実施 | 藤和茅ヶ崎ハイタウン自治会防災会 |
| 役員が一年任期なので、毎年新旧役員の引継ぎを兼ねて防災訓練を実施し、防災機材の確認等を行っていたが、コロナ禍で2年間実施できず苦慮している。 | | |
| 12 | 防災訓練 | 東海岸北五丁目自治会防災会 |
| 年1回自治会員を対象に防災訓練を実施。組員が一時集合場所に集合し、組長が点呼の上、集合していない家庭は無事ですカードが出ているか確認して地区委員に報告。地区委員は本部に報告。年2回移動式消火ホース格納箱設置の近隣住人を対象に、取扱い訓練を実施。（2年間はコロナ禍で未実施） | | |
| 13 | 救命講習、消火栓訓練の実施 | コスモ茅ヶ崎プレシオ自治会防災会 |
| 市および消防署に依頼して、当マンション内で救命講習、消火栓訓練等を実施。（ただし、昨年・本年は中止） | | |
| 14 | 3自治会給水訓練の企画 | 赤松町自治会自主防災組織 |
| 3自治会（本宿、赤松町、赤松）の防災リーダーが交代で、「飲料水兼用貯水槽」から災害時の飲料水確保、防火水槽からの放水訓練の企画立案から計画訓練計画作成、訓練の実施まで一連の取り組みにかかわっています。 | | |
| 15 | 総合防災訓練 | 美住町自主防災会 |
| <p>1 参加者；班長・組長・一般希望者・防災リーダー</p> <p>2 訓練内容；イ 安否確認（全所帯） ロ トランシバー連絡訓練 ハ ホース格納箱利用放水訓練 ニ 井戸水バケツリレー訓練 ホ 車椅子搬送訓練 ヘ ペットボトル1本使用非常食提供訓練 ト テント設営・受付など本部訓練</p> <p>3 訓練の特記事項； 全訓練、同時進行・全防災リーダー役割分担・全訓練防災リーダーが指揮</p> | | |
| 16 | 福祉防災訓練（津波避難） | 美住町自主防災会 |
| <p>訓練目的；要支援者を避難所まで誘導。避難所までに要する時間の確認</p> <p>訓練次第；1 民生委員による事前連絡（案内と参加確認）</p> <p>2 当日訓練；イ 支援者による要支援者宅訪問（車椅子持ち込み） ロ 自治会本部で受け付け ハ 支援者による避難所まで誘導（歩行・車椅子・担架搬送デモ）。避難所3階まで誘導。（車椅子登段なし）</p> | | |
| 17 | 湘北地区防災訓練への参加 | ライトタウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| 2021年度はコロナ禍で中止になったが、例年は自治会役員や防災リーダーを中心に参加して、防災知識の向上を図っている。 | | |
| 18 | 低調な防災活動 | 芹沢東部自治会自主防災部 |
| <p>新型コロナ感染防止のため、令和3年度の小出地区の防災訓練は中止となりました。</p> <p>芹沢東部自治会に自主防災組織が組織されていますが、メンバーの高齢化のため、自治会独自に、会員を集めて訓練をすることもできませんでした。</p> | | |

| | | |
|---|----------------|-------------------|
| 19 | 隣接の藤沢市の防災訓練に参加 | 湘南ライフタウンF地区茅ヶ崎防災会 |
| 避難施設が当自治会から最も近いことから、大庭小学校避難施設運営委員会に参加し災害時の避難場所の一つとしている。 | | |

| | | |
|--|------|-----------|
| 20 | 防災訓練 | やよい会自主防災隊 |
| 毎年、秋に自治会内全員参加による防災訓練を実施、全戸安否確認の旗出し訓練及び、消火栓からの初期消火訓練（消防署の協力を得て）等を行っています。去年、今年はコロナ禍で旗出し訓練のみです。 | | |

| | | |
|---|---------------------|-----------------|
| 21 | 【★】HUG（避難所運営ゲーム）を実施 | 茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会 |
| HUGは防災訓練で予定していたのですが、コロナ禍のため中止となりました。そこで人数を絞るなど感染防止に配慮しつつ、防災対策課のフォローアップ研修の受講者が運営を担う形で練習を行ないました。自力での開催は初めてで不十分な点はありましたが、避難所運営を疑似体験することで実際に直面しそうな様々な問題を考えることができました。今後の課題として、架空の避難所ではなく、私たちの避難所である茅ヶ崎小学校の実情に合わせたよりリアルなHUG訓練を行ないたいと思っています。 | | |

② 資機材等取扱訓練

| | | |
|--|-----------------|--------------|
| 22 | 移動式ホース格納箱取り扱い訓練 | 共恵海岸通り自治会防災会 |
| 毎年2回実施していますが、昨年度と今年度はコロナ禍のため1回実施にとどまりました。今年度は、消防団第2分団のアシストを受けながらも、防災リーダーが中心になって自力で訓練の進行全体をとりしきることで手作りの訓練ができました。町内のホース格納箱設置場所7カ所で順番に年2回実施して、比較的短い周期で訓練が回ってくるようにしています。これは、繰り返し訓練に参加して体で取り扱いに慣れてもらうこと、近くの人たちにお互い顔見知りになってもらうことが狙いです。 | | |

| | | |
|---|----------|----------|
| 23 | 消火訓練について | 中海岸自主防災会 |
| 毎年、中海岸自治会区域内で、2ヶ所選んで、毎年異なる場所で、移動式ホース格納箱による消火訓練を行っている。 | | |

| | | |
|--|-------------|-------------|
| 24 | みんなで体験、放水訓練 | 鳥井戸自治会自主防災会 |
| 阪神淡路大震災、東日本大震災などを教訓に、自主防災力の維持向上を目的に、平成26年度より自治会内に埋設してある消火栓の位置確認と移動式ホースポンプ車で年に1回放水訓練を実施しています。 | | |

| | | |
|---|-------------------|----------|
| 25 | 移動式ホース格納箱の取り扱いの周知 | 中町自治会防災会 |
| 毎年度6月頃、主として新任の班長・組長を対象に移動式ホース格納箱の取り扱いと放水訓練を実施。新任者を対象に継続する事で自治会内の周知を図っていく。 | | |

| | | |
|--|---------|---------------|
| 26 | 防災訓練を実施 | 萩園サンハイム自治会防災会 |
| 高齢者の方や団地内の子供達を中心に、水消火器を使用して消火訓練を行いました。 | | |

| | | |
|---|--------------|----------------|
| 27 | トランシーバの通話テスト | 菱沼小和田自治会自主防災組織 |
| 毎月第2、第4土曜日の朝、自治会役員や防犯防災部員12名で通話テストを実施している。今期には地区連合会のチャンネル割り当て、ユーザーコードの統一を図った。 | | |

③ 安否確認訓練

| | | |
|--|------------------|------------------|
| 28 | 防災訓練の実施 | 十間坂自治会防災会 |
| <p>コロナ禍で、この2年間実施できておりませんが、【ずっと住みたいまちづくり「命をまもる」を最優先】に訓練参加の呼びかけを行っております。</p> | | |
| 29 | 安否確認訓練 | 若松町幸自主防災会 |
| <p>自治会は3ブロックで構成されており、各ブロックごとに防災倉庫があり、一時避難場所とし避難者(会員等)とともに町内の会員宅に掲げられている「無事です」カードで安否確認をして本部に報告。一連の流れを会員等と確認をしました。各防災倉庫に防災箱を設置しており、開けると誰でも手順が分かるように整備しています。</p> | | |
| 30 | 安否確認訓練 | 共恵海岸通り自治会防災会 |
| <p>毎年9月初めに「無事です」カードを各世帯で掲示する安否確認訓練を行なっています。今年度は初めて全世帯を対象に実施して、80.6%の高い参加率を達成しました。(今までは70%台) 事前に安否確認札の所有状況を調べて持っていない世帯に配布するなど、訓練の実施を周知したことが良かったと思われます。以前は、カードの掲示だけでなく、町内に設けられた一時避難所に集合して安否確認や防災対話をしていたのですが、これはコロナ感染防止の観点から実施できませんでした。</p> | | |
| 31 | 年1回安否確認訓練を実施 | 茶屋町自治会防災会 |
| <p>安否確認時「安全確認標識」を掲示していない家は、チャイムを鳴らして掲示忘れの確認等の注意喚起をしています。また、町内を巡視しながらトランシーバーの操作確認や危険箇所のチェックもしています。</p> | | |
| 32 | 安全確認(安否+被害)訓練の実施 | 下町自治会防災会 |
| <p>自主防災会、防災リーダー、民生委員が協力して災害時の安全確認訓練を毎年行っております。また、安否確認チェックリストには避難行動要支援者もわかるようになっております。</p> | | |
| 33 | 安否確認の実施 | コスモ茅ヶ崎プレシオ自治会防災会 |
| <p>自治会の夏祭りに合わせて、安否確認(タオル掛け)を実施している。(ただし、昨年・本年は中止)</p> | | |
| 34 | 毎年安否確認訓練を実施 | 菱沼小和田自治会自主防災組織 |
| <p>今年は5月30日に小和田地区6自治体で実施。「無事です」カードを門扉にかけてもらい、班長が見廻り集計した。表示率は76.9%と昨年を上回ったが、アパートやマンションの参加不足が課題である。</p> | | |
| 35 | 白いタオル運動(安否確認訓練) | 松風台自治会防災会 |
| <p>安否確認訓練として白いタオルを門扉等目立つところに掲げ、我が家は大丈夫のサインを発信。被災者を早期に発見し救出出来るよう2018年(平成29年)から訓練を実施しています。</p> | | |
| 36 | 自治会の安否確認訓練 | ライトタウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| <p>毎年1回、自治会防災会として安否確認訓練を行っている。玄関扉に「無事です」ステッカーを貼り、ベランダにタオルを巻き付けて無事を知らせている。</p> | | |

(3) 広報・情報共有**① 広報紙**

| | | |
|--|-------------|------------------|
| 37 | 2種類の防災広報の発刊 | 茅ヶ崎グランドハイツ自治会防災会 |
| <p>毎月発刊の「防災広報」は、当マンションの防災マニュアル家庭保存版として。年に数回発刊の「防災広報増刊号」は、ちょっと役立つ防災知識として、気軽に読んで頂けるA4/1枚の広報（動画&文章）</p> | | |

| | | |
|---|--------------|---------------|
| 38 | 会員向け独自の情報紙発行 | 東海岸南二丁目自治会防災会 |
| <p>当自主防災会の広報活動の一環として、防災関連行事のお知らせや防災各班の活動状況、防災グッズ紹介etc、不定期で発行している。</p> | | |

② WEBの活用

| | | |
|--|------------------|------------------|
| 39 | 一次情報の発信手段にSNS活用へ | 茅ヶ崎グリーンハイツ自主防災組織 |
| <p>地震等の発災時や事故等の緊急時に、マンション居住者（自主防災会会員）へ屋外避難の是非、停電等の状況、トイレ使用の停止・解除、安否確認などの一次情報を、本部組織から速やかに一斉発信する手段としてSNSの活用を進めている。</p> <p>SNS発信に関しては別途、運用規定を作成中。なお、スマホや携帯電話を保有していない居住者に対しては、旧来の拡声器による広報、活動メンバーによる玄関ドア訪問も行うこととしている。</p> | | |

| | | |
|---|---------------|-------------|
| 40 | 浜之郷ホームページへの掲載 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| <p>浜之郷9班全ての顔見せ場（1次避難場所）と指定避難場所をホームページのマップに表示し新規住民への案内や防災組織員の引き継ぎ項目とした。</p> <p>そのほかにも、2021年7月3日の豪雨で実際に冠水した通学路・避難経路を表示し通学児童の安全確保、災害時の避難経路迂回などに活用する。</p> | | |

| | | |
|--|---------------------|--------------|
| 41 | 自主防災部会の活動をWebサイトで公開 | 浜須賀自治会自主防災部会 |
| <p>自治会の自主防災部会の活動や防災関連情報は年4回程度回覧する「防災通信」等で自治会員に周知しているが、回覧という手段ではいつか目に触れるだけで伝わりづらいため、Webサイトを開設し①活動内容/実績②防災マップや各種マニュアル類③回覧済の「防災通信」等防災関連情報をスマートフォンやパソコンから閲覧できるようにした。</p> <p>更にWebサイトのアドレスや二次元コードを回覧物に記載し、アクセスしやすいように工夫してる。</p> <p>「防災通信」は2014年8月に第1号発行後 本年12月に34号が発行され、継続した取り組みを行っている。</p> | | |

(4) 組織力の向上

① 計画・マニュアル・マップ等

| | | |
|---|-----------------------|------------------|
| 42 | マンション居住者全員を会員に自立活動 | 茅ヶ崎グリーンハイツ自主防災組織 |
| <p>管理組合と自治会からの拠出金を基にした独立会計で運営し、マンション居住者すべてを会員に抱えて自主・自立活動を展開している。</p> <p>組織は、マンション管理規約に規定した発災時統括者と消防法に基づく防火管理者及び防災リーダーや民生児童委員を中心に、自衛消防隊を兼ねる「発災時体制」（活動メンバー）を構成し、「行動指針」並びに「防災・発災時～居住者マニュアル～」を下に実効のある活動を目指している。</p> | | |
| 43 | 防災マニュアルの改訂 | 十間坂自治会防災会 |
| <p>当地区では平成27年9月に防災マニュアルを作成、近年の大雨など災害特性の変化に対応できるよう改訂作業に取り組んでおります。</p> | | |
| 44 | 防災マニュアルの見直し | 藤和茅ヶ崎ハイタウン自治会防災会 |
| <p>2015年に作成した防災マニュアルでは自衛消防組織などで役員の分担を定めているが、発災時に誰が在宅しているか、その年の役員がその役割に相応しいかどうか不明で機能しない恐れがある。発災時に在宅している役員で対応できるよう、すべきことと優先順位を明確にしたタイムラインを作成中である。</p> | | |
| 45 | 「防災・減災のためのてびき」の改訂版の発行 | 若松町幸自主防災会 |
| <p>初版の「てびき」を平成28年1月に発行し、令和3年3月に改訂版を発行しました。改訂版は「風水害」のページを新たに加えて全体を見直し、現在の状況を踏まえた「てびき」になりました。</p> | | |
| 46 | 減災マニュアルの作成 | 東海岸北五丁目自治会防災会 |
| <p>2016年に作成した防災マニュアルの改訂版として、2022年4月配布する予定で現在作成中。</p> <p>組ごとに比較的安全な場所に一時集合場所を定め、地図に消火器・消火栓・移動式消火ホース格納箱等も表示し、無事ですカードとともにマニュアルのポケットに収納。自治会員以外にも配布する。</p> | | |
| 47 | マニュアルの見直し及び改訂版の作成 | 東海岸南一丁目自治会防災会 |
| <p>現在マニュアルの見直しを実施し、今年度（令和3年）末までに改訂版を完成し全会員世帯に配布予定</p> | | |
| 48 | 防災計画の制定と実施 | 上町自治会防災会 |
| <p>防災訓練、啓発活動、防災資機材管理を定めた「防災計画」を制定し、自主防災会議で「防災計画」に基づく実施計画を作成して実行・改善の作業を行っている。</p> | | |
| 49 | 自治会防災マップ | 下町自治会防災会 |
| <p>防災対応の移動式消火ホースや消火栓、街頭消火器、避難場所等々を落とし込んだ防災地図が完成しており、関係者全員が保持しております。</p> | | |
| 50 | 年間活動計画の策定と実施 | サニータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| <p>自治会・管理組合・防災リーダー・民生委員児童委員による定例の防災会議において内容を協議して、団地住民に関心をもってもらい役に立つ防災減災活動の推進に努めている。</p> | | |

| | | |
|--|----------------------|-----------|
| 51 | 防災マニュアル、防災マップのリニューアル | 出口町自治会防災会 |
| <p>前回作成から10年近くが経過し、マニュアルもマップも見直しが必要となり、新たな情報を盛り込んだものにリニューアルしました。</p> | | |

② 体制

| | | |
|---|-----------|------------------|
| 52 | 月1回の定例会開催 | 茅ヶ崎グランドハイツ自治会防災会 |
| <p>自治会、管理組合、防災委員会計20名で民生委員を交えて様々な話し合いや情報の共有、困り事の改善に向けて努力をしています。</p> | | |

| | | |
|---|------------|-------------------|
| 53 | 機能する仕組みの検討 | パークスクエア湘南茅ヶ崎自主防災会 |
| <p>これまで防災に関して経験のある人や自治会関係者が理事会メンバーにいた年度は、活動してきたが、年度が替わると理事会メンバーが変更されるため、継続性がない。自治会と連携して対応策を協議中。</p> | | |

| | | |
|---|----------|----------|
| 54 | 防災会総会を実施 | 中海岸自主防災会 |
| <p>中海岸の防災会として特徴的なのは、毎年防災会の総会へ組長さんも防災委員として参加していただいております、市の防災対策課からのレクチャーもしていただいで、できるだけたくさんの人に防災意識を持っていただいている事と思います。コロナの関係で本年度は、開けなかったのですが、毎年、防災リーダー、防災委員、組長さんを合わせて120名ぐらいの人が参加されています、</p> | | |

| | | |
|---|-------------|---------------|
| 55 | 【★】一時避難所の確保 | 東海岸南一丁目自治会防災会 |
| <p>東海岸南一丁目は避難所の東小・一中までの距離があることから、近隣の恵泉幼稚園さんと協議し災害時一時避難所としてホールの使用出来る様になり、また海岸地区ボランティアセンターも同様に災害時使用出来るように所管の市福祉政策課と協議し使用可になり2か所の一時避難所を確保しました。</p> | | |

| | | |
|--|----------------|---------------|
| 56 | 「組ミーティング」の実施啓蒙 | 東海岸南二丁目自治会防災会 |
| <p>地区内の各組単位で、最低2回/年度の会員間の情報交換、安否確認を主に組長さんの旗振りで行っている。役員同席のケースも有り。</p> | | |

| | | |
|--|------------------------|------------|
| 57 | 防災リーダーの平均年齢（70歳以上）低下対策 | 柳島自治会自主防災会 |
| <p>地域の団体（愛好会：会員160名）に自治会より防災リーダー養成研修に参加依頼を要請。当初10名位の参加を目途。高齢の防災リーダーの中に2～3名の若手の防災リーダーは入りにくい。若手の仲間を一度に加入させ、若手の防災リーダー養成研修に参加しやすくする。次回より毎年3名を目途。</p> | | |

| | | |
|--|-------------------------|-----------------|
| 58 | 自主防災会の緊急連絡網にグループLINEを導入 | 柳島自治会自主防災会 |
| <p>現在使用中の電話連絡網からスマホ保持者に防災リーダーのグループLINEを設置した。</p> <p>○防災リーダー54名に対し、グループLINE登録者17名。</p> <p>○今後スマホの普及率を上げる機会を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練時、グループLINEで防災本部の立上げなど緊急要請を掛ける訓練する。(2021. 11. 21実施) ・スマホで茅ヶ崎市公式ホームページ)茅ヶ崎市トップページ)防災)避難所の開設や混雑の情報を配信します)避難所の開設・混雑情報配信サービス「VACAN」)避難所状況が表示、二次元コード表示を確認。上記の過程で災害時の情報がスマホで入手出来ることを説明する。(2021. 11. 21実施) | | |
| 59 | 関係団体との関係 | 西久保自治会防災会 |
| <p>防災リーダー、民生委員児童委員、消防団等との定期的な情報交換を図りながら防災訓練の実施に取り組んでいます。</p> | | |
| 60 | 自主防災会組織での説明会実施 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| <p>安否確認訓練事前説明会は自主防災会員と組合員の顔見せ場です。感染予防の為、9班を3分割し自主防災組織は説明会を開催しました。</p> | | |
| 61 | トランシーバー(登録局)の活用 | サニータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| <p>防災会本部(=地域活動拠点)と避難所(=地区防災拠点)の災害時の連絡体制について、防災リーダー避難所連絡員が実際に現場に行って通信確認訓練を行っている。</p> | | |
| 62 | 防災グループでライン連絡 | 高田自主防災会 |
| <p>防災担当役員のライングループメールを使って、防災情報やパトロール日時連絡に活用している。(グループメンバー34名)</p> | | |
| 63 | 【★】防災ボランティア制度の推進 | 浜須賀自治会自主防災部会 |
| <p>一般住民より選出し、大地震発生時の安否確認等を主な活動とする自主防災部会とは別の「防災ボランティア制度」を確立しR4年度より具体的な教育スケジュールに基づく活動を開始する。</p> <p>対象はあくまでボランティアで自主応募だが各組(1~11組)より1~2名を任期1年で数年かけて地域にボランティア経験者を蓄積し、自治会としての防災力向上を目的としている。</p> <p>現状の防災リーダーの大半が70歳代と高齢で有事における防災体制が脆弱なことから半年をかけて自治会執行部・自主防災部会を中心に検討し、住民への周知・組長を通しての制度理解に努めた。</p> <p>来年度からの実施予定で成果はこれからだが、防災は一部の人が担当するのではなく、自治会、防災組織、民生委員児童委員、地域住民が一体となって取り組まないと実現できないことを多くの方が理解することが重要ではないか。</p> | | |
| 64 | 災害時の安否確認体制の整備 | 松が丘ハイツ自治会防災会 |
| <p>震度5弱以上の地震発生時、居住者の安否確認が重要であるため、10棟の全階段(30か所×最大6戸)に各1名の確認者を配置。全戸の居住者の安否を確認し、本部に連絡する体制を構築した。</p> | | |

| | | |
|--|------------------------|--------------|
| 65 | 地縁に基づく自治会員同士の絆が防災対策の基礎 | 芹沢東部自治会自主防災部 |
| <p>湘南ライフタウンを除く小出地区では、津波やクラスター火災のような大規模災害の可能性は低く、局所的な風水害・土砂崩れが現実的です。芹沢東部自治会では、このような地域での最も有効な防災対策は、地縁に基づく住民同士の普段からのお付き合いであると考え、自治会活動を進めています。</p> | | |

| | | |
|--|-------|-----------------|
| 66 | 防災勉強会 | 茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会 |
| <p>防災意識の啓発と防災知識の普及・向上を目的に、防災リーダーを主な対象として、毎年防災関係の勉強会を実施しています。その時々タイムリーな企画になるように心がけています。昨年度は防災対策課にお願いして「新型コロナウイルス感染症のもとでの避難所運営」の講演をしていただき、今年度は「感染症とワクチン」について感染症の専門家に講演していただきました。</p> | | |

③ 倉庫・資機材等

| | | |
|--|-------------|------------|
| 67 | 防災倉庫の認識度アップ | 本町第一自治会防災会 |
| <p>毎年4月の組長会終了時に、新任組長さんを35名前後の3グループに分けて、時間差を以って防災倉庫の所在と内容を案内する。</p> | | |

| | | |
|---|---------|-----------------|
| 68 | 防災備品の確認 | ニュータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| <p>防災倉庫内の備品を確認し、不足している物について検討及び購入申請</p> | | |

| | | |
|--|------------------|-----------------|
| 69 | 防災倉庫内の機材・備品の定期点検 | オクトス湘南茅ヶ崎自主防災組織 |
| <p>いざという時に慌てることが無いように、倉庫内の機材・備品の定期点検（電池などの消耗品の交換・発電機等の試運転）を自主防災組織のメンバーで計画的に行う。</p> | | |

| | | |
|--|---------------------|----------|
| 70 | かまどベンチ製作（R4-3月実施予定） | 美住町自主防災会 |
| <p>製作目的；小和田公民館公園内に設置する。平常時には、ベンチ、災害時には、かまど（炊き出し用）として利用する。</p> <p>製作協働；小和田公民館・浜須賀中学校ボランティア・美住町自主防災会</p> <p>製作指導；原田工務店（美住町）</p> <p>製作内容；ベンチ 3人掛、かまど 2基</p> | | |

| | | |
|-----------------------------|--------|----------|
| 71 | 防災倉庫点検 | 堤上自治会防災会 |
| <p>自治会役員にて、防災倉庫備品の点検、整理</p> | | |

(5) 要支援者

① 支援体制

| | | |
|--|--------------------|------------------|
| 72 | 避難行動要支援者サポート隊の立ち上げ | 藤和茅ヶ崎ハイタウン自治会防災会 |
| 避難行動要支援者一人ひとりに対して担当の支援者を決め、発災時の安否確認、避難介助を行う体制を整えた。 | | |

| | | |
|--|-----------------|---------|
| 73 | 要支援者のフォロー担当割り振り | 高田自主防災会 |
| 自主防災組織メンバーに一人あたり1名～4名の要支援者を割り当てて、地震災害時の安否確認に備えている。 | | |

| | | |
|---|--|-------------------|
| 74 | 自治会員の年齢・性別調査（全家庭に調査結果報告）と行政提供の災害時等避難行動要支援者人数を2017年～2021年度までを一覧表にして全家庭に配布 | 湘南ライフタウンF地区茅ヶ崎防災会 |
| 近隣地区及び藤沢市・茅ヶ崎市と比較した結果、当自治会の超高齢化が思った以上に進んでいる状況が把握、認識して頂きこれからの活動に生かしたい。災害時等避難行動要支援者人数についても認識して頂き活動に生かしたい。 | | |

② マップ／リスト・個票

| | | |
|--|---------------|----------|
| 75 | 避難行動要支援者マップ作成 | 中海岸自主防災会 |
| 民生委員毎、自治会の理事毎それぞれ担当範囲を明確にした地図を作成した。今後は、毎年新たに防災会活動の中で、地図を作成することにした。 | | |

| | | |
|---|-------------------|---------------|
| 76 | 避難行動要支援者のリスト作成・維持 | 東海岸北一丁目自治会防災会 |
| 民生委員の方とも協力し、避難行動要支援者のリストを作成し、常に最新の状況を防災リーダーと共有している。 | | |

| | | |
|--|----------------|---------------|
| 77 | 避難行動要支援者マップを作成 | 東海岸北二丁目自治会防災会 |
| 民生委員と協力し、避難行動要支援者のマップを作成しました。マップは災害時の安否確認等に活用予定。 | | |

| | | |
|--|-----------------------------------|---------------|
| 78 | 避難行動要支援者ランク付けマップの作成及び個別支援計画一覧表の作成 | 東海岸南一丁目自治会防災会 |
| 民生委員と共同で避難行動要支援者ランク付けマップを作成し、そのデータに基づき個別支援計画を作成し一覧表で保管 | | |

| | | |
|---|--------------------|----------|
| 79 | 避難行動要支援者一覧表・マップの作成 | 上町自治会防災会 |
| 市から提供される「避難行動要支援者 登録台帳」より、町内の区分情報（町内、組）を入れた一覧表とマップを作成し、安否確認を兼ねて実情調査に利用している。 | | |

| | | |
|---|--------------------|----------|
| 80 | 避難行動要支援者の簡易「個人票」作成 | 中町自治会防災会 |
| 市の台帳をベースにA-4サイズ1枚の簡易「個人票」を作成。各組長に対象者の「個人票」を見守り支援対応のお願いを付記して渡す。翌年には次の組長へと順次引継ぎを行う。 | | |

| | | |
|---|---|------------|
| 81 | 【★】避難行動優先要支援者の対象マップを作成し民生委員と防災リーダーが情報を共有する。 | 柳島自治会自主防災会 |
| <p>民生委員の協力をえて、避難行動要支援者（160名）の中から更に支援が優先される独居等（24名）の方を民生委員の区割（8区画）に仕切り、区割りの担当民生委員・防災リーダーが情報（地図に民生委員の区割に民生委員名・防災リーダー名・優先要支援者を明記）を共有して、洪水警報時の避難行動支援に対応する。</p> <p>○避難行動要支援者の対象マップ作成。（要支援者・民生委員・防災リーダーを地図に明記）</p> <p>○避難行動優先要支援者の対象マップ作成。（優先要支援者・民生委員・防災リーダーを地図に明記）</p> <p>・A3に縮小して各防災リーダーが保管。日頃から担当区域の優先要支援者を意識して見守り。</p> | | |

| | | |
|--|---------------|------------|
| 82 | 避難行動要支援者のマップ化 | 今宿自治会自主防災会 |
| 民生委員と自主防災と避難行動要支援者の名簿をマップ化し（グーグルマップ）情報の開示方法検討中、6ヶ月ごとの更新の対応等も | | |

| | | |
|---|----------------|-----------------|
| 83 | 避難行動要支援者のリスト作成 | ニュータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| 民生委員協力のもと避難行動要支援者のうち1人住まいの方をリストアップし災害時の迅速な対応に活かす。 | | |

| | | |
|--|----------------|------------|
| 84 | 避難行動要支援者のリスト更新 | 浜竹一丁目自主防災会 |
| 普段から身近に支援を必要としている人を知ってもらうため、班・組別に組み替えたリストを作成。名簿は年2回更新されるが、防災マニュアルにも最新リストを記載。 | | |

| | | |
|---|----------------|-----------|
| 85 | 避難行動要支援者のリスト作成 | やよい会自主防災隊 |
| 自治会内全戸に要支援を募り、「要支援者リスト」として隊長が保管。勿論、個人情報保護に万全の注意をしております。 | | |

| | | |
|--|----------------|-----------|
| 86 | 避難行動要支援者のマップ作成 | やよい会自主防災隊 |
| 数年前からマップを作成してきたが、その見直し、確認をした。災害時の安否確認等に活用する。 | | |

③ 対象者確認

| | | |
|---|-----------------|--------------------|
| 87 | 避難行動要支援者の対象者の確認 | レクセルマンション茅ヶ崎自主防災組織 |
| マンション内居住者の避難行動要支援者の対象者を特定すべく毎年アンケートを実施し、災害時の避難誘導並びに安否確認に活用している。 | | |

| | | |
|---|-----------------|-----------|
| 88 | 避難行動要支援者の対象者の面談 | 共恵東自治会防災会 |
| 民生委員2名と防災リーダーとで対象者の方へ、私が担当しますと名前を記入し、電話番号を通知しました。 | | |

| | | |
|---|-------------------|------------|
| 89 | 避難行動要支援者宅の安否確認を実施 | 矢畑自治会防災会 |
| <p>民生委員児童委員が作成した対象者マップを基に、民生委員と防災リーダーが組になって、避難行動要支援者宅の安否確認を実施した。</p> | | |
| 90 | 要支援者との顔合わせ | TBS自主防災会 |
| <p>防災訓練時に全要支援者との顔合わせをしました。（2人一組で）終了後民生委員を交えて報告と今後の活動について意見交換をしました。鶴嶺東地区合同の防災訓練が長いこと開催されておらず、いざと言う時に何が出来るのか不安です。日頃の活動がとても大切と思ってます。体験してないと動けない。</p> | | |
| 91 | 要支援者の支援方法 | 今宿自治会自主防災会 |
| <p>民生委員担当地域ごとに分かれて状況説明及び今後の支援すべき人を確認して進めていく（コロナで進めずにいるが来年1月より行う）</p> | | |



1 自主防災組織活動

2 防災リーダー活動

3 資機材

4 コロナ禍の取組

2 防災リーダーとして活動していること



防災活動事例紹介

市とのオンライン防災講座を開催

地区名：茅ヶ崎地区

組織名：茅ヶ崎グランドハイツ自治会防災委員会

自治会加入世帯：180世帯

令和4年3月作成

活動内容

茅ヶ崎グランドハイツ自治会は、南北に3棟のマンションを抱えるマンション単体の自治会です。

防災委員会は、当番制ではなく、防災の必要性を強く感じて集まった方たちで構成されています。もしもの大規模災害時に、自助・共助で少しでも居住者同士が助け合えるように、行政やNPO法人と連携し、様々な活動をしています。活動の中の一つに、居住者に防災の必要性を理解してもらうことを目的として、ユーチューブによる動画配信を行っています。今までは、委員会独自で配信していましたが、今回は防災対策課と連携しながら、「オンライン防災講座」を開催し、その内容を配信することで、広く居住者へ防災の必要を周知することにつながりました。



活動のポイント



コロナの影響により、「市民まなび講座」が中止となる中で、なんとか別の形で開催できないかと考え、防災対策課に相談したところ、初のオンラインによる「防災講座」の開催となりました。

初の試みであったため、不安がありましたが、防災対策課の職員の方と一緒に進められて、諦めずに開催できて良かったと思っています。

防災活動事例紹介

トランシーバーのロールコール訓練への参加

地区名：松林地区

組織名：オクトス湘南茅ヶ崎自主防災組織

自治会加入世帯：394世帯

令和4年3月作成

活動内容

オクトス湘南茅ヶ崎自主防災組織は、南北に15階建てのマンションを2棟抱えるマンション単独の自主防災組織です。

オクトスでは、災害時の情報共有や連絡手段の強化を目的として、松林地区まちぢから協議会防災部会とアマチュア無線愛好家が協力して実施している毎月1回のトランシーバーによる「ロールコール訓練」に参加しています。

定期的な訓練に参加することで、トランシーバー担当者の取扱い技術向上はもちろんのこと、地区内の自主防災組織と常時連絡体制が図られるなど、様々な防災活動に役立てています。



活動のポイント



南北に15階建てのマンション抱えていることから、それぞれの棟に5人ずつ計10人の担当者がトランシーバーを管理するように配置しています。

また、ロールコール訓練時以外では、無線チャンネルをオクトス独自で設定し、担当者の情報共有や、他の防災資機材点検時の連絡手段として活用しています。

防災リーダーが防災資機材の定期点検を実施

地区名：小和田地区

組織名：赤松町自治会防災会

自治会加入世帯：539世帯

令和4年3月作成

活動内容

赤松町自治会防災会は、戸建ての住宅の他に大型のマンション2棟を抱える自主防災組織です。

防災会では、平素の取り組みとして、3か月毎に、防災倉庫に整備している資機材の動作点検を取扱方法の確認とあわせて実施しています。

防災資機材は、整備が目的でなく実際に活用できなければいけません。このように活動を継続することで、資機材の取扱いに慣れるとともに、少なくとも3か月に一度、防災リーダーが集まる機会にもつながります。活動は、基本的なことではありますが、その意味合いは大変重要なことであると認識し、取り組んでいます。



活動のポイント



災害時に速やかに使用できるよう、あらかじめ発電機に台車を固定しています。最近では、倉庫の前が砂地のため、タイヤを大径のものに更新しました。

取扱訓練は、防災リーダーを中心として行っており、訓練の周知は、メールを基本に、登録のない方にはポスティングにより参加を呼びかけています。なかなか参加できない人へも声掛けは継続しています。

防災活動事例紹介

防災リーダーの年間活動計画を作成

地区名：松浪地区

組織名：浜竹一丁目自主防災会

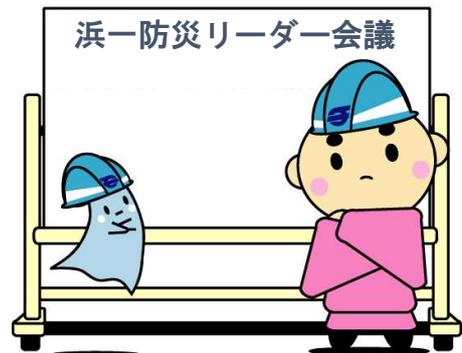
自治会加入世帯：636世帯

令和4年3月作成

活動内容

当会では、自主防災組織の年間活動について、毎年同じような活動が定例的に行われており、例えば、新たに取り組むべきことなどが生じて、なかなか実行しにくいような環境がありました。このような環境を改善し、活動を向上させるため、令和元年度より、防災リーダーによる会議を隔月（年6回）で開催し、次年度に実施すべきことを、その年ごとに話し合い検討していくようにしました。

この防災リーダーによる会議（話し合い）により、年間の事業スケジュールを決定していくことで、活動に主体性が生じるとともに、多くの年間予定を踏まえ、活動の集中化を避け事業を組み込むことができるなど、計画的かつ効果的な活動につながっていくことができるようになりました。



活動のポイント

当該年度の事業報告と次年度の事業計画を同じ紙面に載せ検討することにより、役員等が変更になっても事業に支障がないように配慮しています。また、議題を1か月前に通知することや議事録を翌日に送付することで、スムーズな会議運営と認識の共有を図っています。

令和3（2021）年度事業報告と次年度事業計画

作成者 澤田 光康

| 防 災 部 | | | | 次 年 度 事 業 計 画 | | |
|--------------------|---|------------------------|--|--|---|--|
| 令和3年（2021）年度 事業 報告 | | | | 次 年 度 事 業 計 画 | | |
| 月日 | 事業項目（内容） | 参加数 | 経費 | 事業計画（参加予定数） | 予算 | 備考 |
| 11月 | 防災訓練の実施 ・松浪地区防災訓練 ⇒コロナ対応のため中止 | | 0円 | 防災訓練の実施 ・松浪地区防災訓練 (14自治会合同) | 参加者数 (浜一 40～60名) | 【実施可能な訓練】 ・安否確認訓練 ・避難所開設・運営訓練 ・情報伝達訓練 ・実技訓練 |
| 通期 | ・防災リーダー会議（5回） ・防災トランシーバー交信訓練（12回） ・避難要支援者制度への具体的対応を民生委員と協議：具体的活動の前に、対象者名簿の絞り込みが必要との結論。茅ヶ崎市もモデル事業を計画しておりその結果を待つこととした。 ・防災部の運営体制見直しを検討 | 会議参加者＝54名 交信訓練＝120名 | 事務費、会議費、 38,054円 | 防災部活動 ・防災部会議（4回/年）開催（定時防災部会（随時）） ・（浪中）防災マップ作り支援 ・防災リーダーの育成（5名） ・自治会行事の支援 | 16万円 (事務費、訓練反省会、リーダー懇話会、防災ラジオ、トランシーバー電波使用料等) | 【防災リーダー会議での検討事項】 ・防災機能維持のための議論 ・防災講話（詳細別途） ・防災避難訓練（詳細別途） ※浜一一時避難場所（8ヶ所目標） ・購入すべき防災資機材（トランシーバー全員携帯目標） ・活動は簡素化に留意する。 |
| | ・防災リーダー育成：0人 ・（浪中）防災マップ作り支援 | | | 防災資機材の購入、維持、管理（消耗品補充含む） ・消火器の更新（20台） ・災害発生時の備品 ・その他 | 30万円 | ・資機材の更新、災害傾向に対応した補充 |
| | ・防災資機材購入 ① 消火器更新（2011年度設置20台）（格納箱1台含む） ② リンカー（1台） ③ 安否確認手ぬぐい（700本） | | 防災資機材 285,200円 (内市補助金 123,400円) | | | |
| | | | 予算：400,000円 | | | |
| | | | 千算：400,000円 | 次年度予算額 | 480,000円 | |

浜竹一丁目自治会

(1) 住民啓発活動**① 防災活動の周知**

| | | |
|---|----------------------------|------------------|
| 1 | 【★】市とのオンラインまなび講座参加・自治会への説明 | 茅ヶ崎グランドハイツ自治会防災会 |
| <p>居住者にもっと防災の知識を学んでほしい！防災委員会の活動を知ってもらいたい思いで自治会に顔出しして、防災リーダーの重要性や防災リーダーを増やす啓蒙活動を行っている。</p> | | |

② 意識啓発活動

| | | |
|--|---------|-----------|
| 2 | 防災意識の啓発 | 若松町幸自主防災会 |
| <p>「自分の命は自分で守る」と言い続けています。てびき、広報誌、自治会イベントにおいて啓発しています。</p> | | |

| | | |
|--|------|-----------|
| 3 | 啓発活動 | 茶屋町自治会防災会 |
| <p>町内会の回覧の余白部分に「自主防災会より」として、「大雨・地震時にどう行動するか日頃から家族で相談を！」等の啓発文を載せています。</p> | | |



(2) 訓練・研修

① 防災訓練

| | | |
|--|--------------------|-------------------|
| 4 | 十間坂防災訓練の主導 | 十間坂自治会防災会 |
| 十間坂防災訓練では自主防災会役員として、訓練内容の立案や避難訓練、消火訓練等を実施しております。 | | |
| 5 | 年1回の定例となる防災訓練の計画 | パークスクエア湘南茅ヶ崎自主防災会 |
| 年1回、集合住宅で実施している定例の防災訓練を計画中。 | | |
| 6 | 地区防災訓練への参加 | 共恵東自治会防災会 |
| 防災部会で企画し、防災リーダー協議会が運営実行する。 | | |
| 7 | 防災訓練の実施 | 矢畑自治会防災会 |
| <p>防災訓練の実施要領及び進行表により各班の第一避難所へ各組長が安否確認集計表を防災リーダーに提出、防災リーダーが参加者人数を集約して訓練本部（自治会館）に持参し報告する。</p> <p>なお、別の防災リーダーは民生委員と組になり安否の確認が出来ない避難行動要支援者宅に伺い訓練本部に結果報告する。</p> | | |
| 8 | 防災訓練への参加 | 西久保自治会防災会 |
| 地区防災訓練では、民生委員児童委員等との関係を図る取り組み及び、運営に中心的に関わっています。 | | |
| 9 | 自主防災訓練の企画と実施 | サニータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| 自治会・管理組合・防災リーダー・民生委員児童委員が協力して行動する訓練プログラムの作成と訓練実施まで中心に関わることで、集合住宅ならではの防災活動を推進している。 | | |
| 10 | 防災訓練への参加 | コスモ茅ヶ崎プレシオ自治会防災会 |
| 安否確認、救命講習、消火栓訓練に積極的に参加、及び、茅ヶ崎市防災訓練(鶴嶺西地区)への参加。 | | |
| 11 | 身近な物で応急措置 | 萩園サンハイム自治会防災会 |
| 地震等で災害に遭って怪我をした時に、身近にある物で応急措置が出来る講習を行いました。 | | |
| 12 | 地区まちぢから協議会防災部会への参加 | ショクサンビラ自治会自主防災会 |
| 地区防災訓練について、防災リーダーが、企画立案から訓練計画作成・訓練の実施まで、一連の取り組みに自治会代表として関わっていましたが、市の要請で企画途中にて中止となりました。 | | |
| 13 | 防災管理用紙の見直し | ライトタウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| 安否確認訓練チェックシートや災害対策本部管理シートなど適宜見直している。 | | |

② 資機材等取扱訓練

| | | |
|--|--------------------------------|-----------------|
| 14 | 消防ホース放水訓練 | 東海岸北二丁目自治会防災会 |
| 毎年地区内の消火栓利用で8月に消防放水訓練を行っている。 | | |
| 15 | AED練習 | 東海岸北二丁目自治会防災会 |
| 毎年9月に自治会館にてAED使用訓練を行っている。(コロナ中は休止) | | |
| 16 | トランシーバーにて情報の共有化 | 東海岸南一丁目自治会防災会 |
| 役員・グループリーダー全員がトランシーバー保有者になり、災害時に備え安否タオル活用の防災訓練時に情報伝達訓練を実施。 | | |
| 17 | 地区独自の防災訓練企画・参加 | 東海岸南二丁目自治会防災会 |
| ①移動式消火ホースの使い方実施訓練 ②消防署から借りた水消火器での消火訓練(地引網大会時に企画) ③消火器メーカーの消火実験見学会など毎年企画している。 | | |
| 18 | 無線機の受信エリアと充電時期の調査実施 | 上町自治会防災会 |
| 安否確認訓練時に避難所や町内各所との間で無線受信が可能か確認を行った。 無線機は充電後の保管とし、使用時に保管期間と充電状況を確認して保管中の充電時期の調査を行っている。 | | |
| 19 | 自治会活動内での防災訓練 | 今宿自治会自主防災会 |
| 自治会イベント時にAED・防災器具の取り扱い等の訓練の指導を行っている。 | | |
| 20 | 防災備品購入後の扱い方 | ニュータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| 今年度新規にテント2張を購入し、その搬送及び組立て方の訓練実施 | | |
| 21 | 無線によるロールコール(4から移動した) | ニュータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| 月1回のロールコールであるが、災害時には連絡が取れる事を目的に使い慣れる訓練 | | |
| 22 | 地区の情報伝達訓練に参加 | ショクサンピラ自治会自主防災会 |
| 防災用無線機のロールコール(月例の連絡訓練)に防災リーダーが参加 | | |
| 23 | 【★】防災無線機(トランシーバー)のロールコール訓練への参加 | オクトス湘南茅ヶ崎自主防災組織 |
| 防災無線機担当者10人が、無線機の扱いに慣れたために常時フル充電をして、松林地区まちぢから協議会防災部会が主催(アマチュア無線愛好家の協力)する月1回の「ロールコール訓練」に参加している。 | | |

| | | |
|---|----------------|------------|
| 24 | トランシーバーによる連絡訓練 | 浜竹一丁目自主防災会 |
| トランシーバーの維持管理（充電状況の確認など）と交信技術向上のため、毎月第1日曜日に情報伝達訓練を実施。町内適正配備のため12台配置。 | | |

| | | |
|--|------|-----------|
| 25 | 放水訓練 | 出口町自治会防災会 |
| 防災リーダーを中心に地域の方にも呼びかけ、参加者を募り、消防の指導を受けながらの放水訓練ですが、住民の参加者は極めて少なく、悩みは多い。 | | |

③ 意識・能力向上

| | | |
|--|-------------------|-----------|
| 26 | 地区まちぢから協議会防災部会へ参加 | 十間坂自治会防災会 |
| 茅ヶ崎地区まちぢから協議会防災部会へ参加し、茅ヶ崎地区での防災のあり方の協議や防災訓練、フォローアップ研修等でスキルアップに努めております。 | | |

| | | |
|--|---------------|------------------|
| 27 | 避難訓練・防災イベント開催 | 茅ヶ崎グランドハイツ自治会防災会 |
| 防災リーダーが中心となって、防災委員会を立ち上げる。居住者の安否確認の訓練や、防災イベントを開催して、防災の知識・意識の向上に努力している。 | | |

| | | |
|--|----------------|---------------|
| 28 | 防災リーダーの基本的知識習得 | 東海岸南二丁目自治会防災会 |
| 救急指導のスペシャリストによる基本的な種々救命訓練や座学を受講したり、市の主催の各種救命講習会への住民向け啓蒙実施。 | | |

| | | |
|--|----------|-------------|
| 29 | 市の研修会に参加 | T B S 自主防災会 |
| 市企画の研修会に全防災リーダーに呼びかけ参加を促しましたが、中止のものもあり残念でした。 | | |

| | | |
|-----------------------------|-----------------|-----------------|
| 30 | 防災リーダーフォローアップ研修 | ニュータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| 防災リーダーへのフォローアップ研修の参加へのアプローチ | | |

| | | |
|---|---------|--------------|
| 31 | 各行事等に参加 | 赤松町自治会自主防災組織 |
| コロナウイルスの影響で、会議等を実施できないため、防災リーダーが様々な行事等に参加して意見交換、交流している。 | | |

(3) 防災資機材に関すること

① 維持管理

| | | |
|--|--------------------------|-----------------|
| 32 | 消火設備の点検 | 本町第一自治会防災会 |
| 移動式ホース格納箱の鍵が滑らかに回転する様に点検をしたり、CRC556の注入をしている。 | | |
| 33 | 防災資機材の管理点検と作動訓練 | 下町自治会防災会 |
| 防災倉庫内に保管してある資機材のリストが作成されており、毎年点検と作動訓練を実施している。 | | |
| 34 | 移動式ホースの状況確認 定期巡回をルール化する。 | 柳島自治会自主防災会 |
| 1回/年 9月に鍵の状況管理も含め実施する。 | | |
| 35 | 災害用資機材の運用訓練と拡充 | サニータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| 管理事務所(=防災会本部)および防災倉庫にそれぞれ災害用資機材を配備して、定期的に点検運用訓練を行うとともに、在宅避難の長期化に備えて資機材の拡充計画を推進している。 | | |
| 36 | 【★】防災用具の定期点検 | 赤松町自治会自主防災組織 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自治会防災リーダーで、3カ月毎に消防ポンプ、発電機、チェンソー等のメンテナンスと取り扱い訓練を開催し災害時に備えている。 ・耐用年数を超えている防災ヘルメットの交換。 ・防災掲示板を設置した。(自治会に掲示板がなかったため防災関連情報は回覧のみであった) | | |
| 37 | 街頭消火器ペンキ塗り | 赤松町自治会自主防災組織 |
| 自治会防災リーダーが、老朽化し色褪せして目立たなくなっている街頭消火器のペンキ塗り計画の企画立案・実施まで中心にかかわった。 | | |
| 38 | 防災資機材の点検 | 美住町自主防災会 |
| 1 防災倉庫(4か所)の点検(棚卸) 2 発電機定期的試運転 | | |
| 39 | 資機材点検と装備補充 | 松風台自治会防災会 |
| 松風台内公園3か所にある防災倉庫の資機材を定期的に点検し、必要な時に有効に活用できるよう確認しています。時代に合せより簡単に使いやすい機材に入れ替えも進めています。 | | |
| 40 | 定例会議 | 若松町幸自主防災会 |
| 毎月1回各防災倉庫の発電機の運転をして、必要に応じて他の資機材の点検をします。その後、防災部会議を実施します。状況により随時招集します。 | | |
| ② 整備・更新 | | |
| 41 | 防災資機材購入品の選定 | 堤上自治会防災会 |
| 特定のリーダーで集まり、防災資機材購入品の選定をしている。 | | |

(4) 組織力の向上

① 体制

| | | |
|--|-----------------------|----------------|
| 42 | 自主防災組織とまちぢから協議会 | 共恵東自治会防災会 |
| 6自治会の防災組織（自主防災）防災リーダー協議会の設立16名、茅ヶ崎南地区まちぢから協議会の防災部会への参加9名 | | |
| 43 | 防災リーダー養成講座への推薦 | 中海岸自主防災会 |
| 毎年防災会として活動する中で、将来防災リーダーとして活動してほしい人、活動したい人に声をかけて、3～4人ずつ防災リーダーの数を増やしてきている。 | | |
| 44 | 防災リーダーを班分けして活動 | 東海岸北一丁目自治会防災会 |
| 自治会地域内の防災リーダーを、本部員と4つの班に分けて、各班が担当する避難行動要支援者を明確にした。班ごとに危険箇所の確認を実施するとともに、担当する避難行動要支援者との面談を計画している。 | | |
| 45 | 防災リーダーの高齢化と受講者不足 | 東海岸北五丁目自治会防災会 |
| 防災リーダー研修者は30名程度いたが、高齢化による辞退者や転居等により、現在は13名しか防災組織に参加していない。新規募集しても研修会参加希望者はここ数年いないのが現状。 | | |
| 46 | 防災担当班 | 下町自治会防災会 |
| 災害発生時の防災担当班を決めてあり、自治会防災会委員とともに平時及び災害時の活動についてマニュアル化を行っているところです。同時に班別の必要資機材についても検討協議中です。 | | |
| 47 | 「防災リーダー会」と連携 | 菱沼小和田自治会自主防災組織 |
| 防災リーダーの有志が集まり「防災リーダー会」を再結成。防災活動の啓発や防災備品の整備計画策定などを自治会と連携して活動している。 | | |
| 48 | 防災リーダー連絡会 | 出口町自治会防災会 |
| マニュアル・マップの作成にあたり話題となり、今後の検討課題となったこと。防災リーダーの役割分担、災害時（台風・大雨・大地震含）防災リーダーの行動手順・規範等の明確化をすることも必要 | | |
| 49 | 自主防災会専任役員とリーダーが協調して活動 | 松が丘ハイツ自治会防災会 |
| 過去に13名の防災リーダーを養成し、現在の役員16名のうち4名在籍している。防災会の専任役員が中心となり、リーダーの知見も生かして諸活動の企画、推進、実行を協力して行っている。 | | |
| 50 | 自主防災組織の適正人数と高齢化 | 松が丘ハイツ自治会防災会 |
| 2011年の東北大震災発生時に自宅にいた人は全体の50%であったため、現在は16名の組織であり、災害発生時に半数しかいなくても8名でなんとか処理可能と考えているが、人数を減らせとの声もあり悩んでいる。また高齢化が進んでおり、若手の参加が難しい。このままでは組織全員が80代になる。 | | |

| | | |
|--|---------|-----------|
| 51 | 防災会組織運営 | 松風台自治会防災会 |
| 松風台自治会防災会のメンバーは適宜防災リーダー養成研修に参加し、防災リーダーの活動として地域防災組織および防災活動の運営を行っています。 | | |

| | | |
|--------------------------------------|----------|-------------------|
| 52 | 防災支援隊を設置 | 湘南ライフタウンF地区茅ヶ崎防災会 |
| 地区内の防災リーダーで構成し、自治会防災部を訓練時に企画等の支援を行う。 | | |

| | | |
|---|---------------|-----------|
| 53 | 防災リーダーへの若手の参加 | やよい会自主防災隊 |
| 自治会・自主防災隊役員が高齢化しているため、町内若手（60歳未満）のリーダーへの参加を促す。その為の研修会への積極的な参加を期待する。 | | |

| | | |
|--|------------------|-----------------|
| 54 | 防災リーダー協議会の活動について | 茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会 |
| 茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会は、茅ヶ崎南地区の6つの自主防災組織の防災リーダーの代表から成る協議団体です。防災リーダーの親睦・連携の増進および防災知識・技能の向上と、防災訓練等の活動を通じて地域の防災力の強化に資することを目的に活動しています。したがって防災リーダー協議会の活動はすべて、自主防災組織としての活動であり、かつ防災リーダーとしての活動でもあります。 | | |

② 会議等

| | | |
|---|------------|----------|
| 55 | 防災会運営委員会実施 | 中海岸自主防災会 |
| 毎月1度運営委員会を実施して、16名のメンバーで、活動内容を決めたり、見直しをしたりしている。 | | |

| | | |
|--|-----------------|---------------|
| 56 | 北五自主防災会・部会組織を設置 | 東海岸北五丁目自治会防災会 |
| 自主防災リーダー研修を受講していない人も含めて、自主防災組織を設置。活動班として地区委員と組長も組織の構成員とする。但し、上部組織17名で2ヶ月に1回程度自主防災部会議を開催。 | | |

| | | |
|---|------------------|------------|
| 57 | 【★】年間活動スケジュールを策定 | 浜竹一丁目自主防災会 |
| 防災リーダー会議を定期的に隔月（年6回）に開催。 会議で活動予定の進展状況を確認してスケジュールを遂行している。 | | |

| | | |
|---|----------|-----------------|
| 58 | 防災意識の共有化 | ライトタウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| 防災会の役員である自治会役員は一年ごとに替わるため、防災会議を通して防災意識の共有化を図っている。 | | |

| | | |
|---------------------------------|------------|-----------|
| 59 | 地区内防災活動に参加 | やよい会自主防災隊 |
| 小出地区、藤沢大庭地区内のリーダー会議、防災訓練に積極的に参加 | | |

③ 諸活動

| | | |
|---|--------------|-----------|
| 60 | 年2～3回防災会議を開催 | 茶屋町自治会防災会 |
| 自治会三役や民生委員も一緒に、要支援者の再確認や救済手段の確認、防災資材のチェック、追加購入品の選定、防災マニュアルの見直し等を行っています。消火用マンホールで放水手順の確認及び操作も実施。 | | |

| | | |
|--|--------------|-------------|
| 61 | 班長防災ファイルの見直し | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 班長防災ファイルは毎年、班長が変わり年度を重ねる度に資料が多くなる。最新版資料（改訂年月変更履歴を付け）だけが保管される様に保管ファイル資料の見出しを追加した。 | | |

浜之郷自治会自主防災会 班長防災ファイル見出し

| *注 班長 G長業務の場合ハファイル2冊の場合がある | | | | |
|----------------------------|----------------------------|----|-----------|----------------------------------|
| | 防災ファイル資料名 | 班長 | Gリーダー（班長） | 資料説明 |
| 1 | 浜之郷自治会班内防災組織図構造 | ○ | | 2021年改訂版 |
| 2 | 班グループ別世帯数・人数・要支援者数シート | ○ | | 2021年改訂版 |
| 3 | 浜之郷自治会自主防災会規約 | ○ | | 2021年改訂版 |
| 4 | 浜之郷自治会地区防災マニュアル | ○ | | 2020年更新 HP搭載 |
| 5 | 自主防災会組織の役割と活動マニュアル | ○ | | 2021年初版 |
| 6 | 浜之郷自治会自主防災会安否確認実施要領書 | ○ | ○ | 2021年度改訂版 |
| 7 | 安否確認表 | | ○ | 毎年更新 |
| 8 | 洪水土砂災害ハザードマップ（相模川・小出川・千の川） | ○ | ○ | 茅ヶ崎市発行2021年7月発行 (北部地区の位置ずれ有る) |

| | | |
|--|---------------|------------|
| 62 | 地区まちぢから協議会で部会 | 今宿自治会自主防災会 |
| 地区まちぢから協議会の防災部会に参加、自主防災会議にて報告及び活動内容に応じて自主防災で実施 | | |

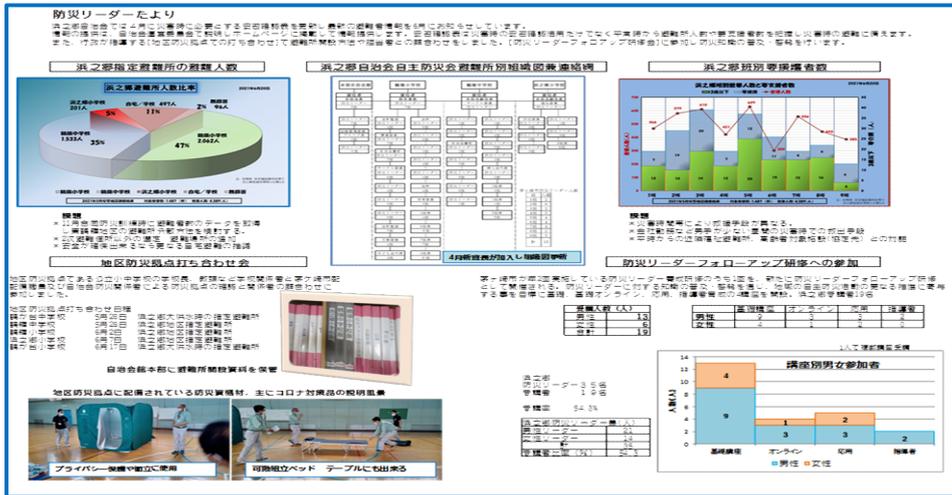
| | | |
|--|----------|----------|
| 63 | 自主防災会に参加 | 美住町自主防災会 |
| 1 防災訓練に参加 2 防災計画に参画（訓練の企画・防災資機材の検討・防災研修会の企画） 3 地域活動に参加（公民館主催防災イベントの支援） | | |

(5) 要支援者に関すること

① 支援体制

| | | |
|--|------------|-------------|
| 64 | 集計データの見える化 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| <p>浜之郷安否確認表を基に避難所人数比率や各班の要援護者などをグラフ化した。避難所混雑比率、各班世帯人数に対する要援護者数など防災たよりなどに掲載</p> | | |

浜之郷自治会自主防災会 防災リーダーたより



| | | |
|---|-----------------|--------------|
| 65 | 避難行動要支援者支援活動の推進 | 浜須賀自治会自主防災部会 |
| <p>同制度における要支援者への支援は “自治会に委ねられて”いる。要支援者の登録した気持ちを無にしないように、当自治会は地域の実態を最も良く知る民生委員児童委員と協力し以下の方法で活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援者毎に症状に合わせて「地域支援者」を1～5名程度設定（要支援者、地域支援者共に了解の方） ・支援者リストに基づく資料、組・班毎の対象者リスト等を自治会長等、限定された人に配布 ・上記資料のメンテナンス <p>等で昨年度より活動を継続している。これに特化した独自の避難訓練も必要との検討をしている。</p> | | |

(6) 災害予防活動**① 地域のリスクを把握**

| | | |
|---|---------------|------------|
| 66 | 自治会地区内の危険物の注視 | 本町第一自治会防災会 |
| 倒れそうな塀や倒木の恐れが有りそうな樹木等、地震や強風時に危険性を感じられるものを常に念頭に置く様にする。 | | |
| 67 | 7月3日の豪雨後の対応 | 柳島自治会自主防災会 |
| <p>○雨水樋の点検。大雨の前に特定した低い場所の点検。</p> <p>○浸水し易い低い場所用として、8月、9月に土のうを150個2か所に準備</p> | | |



1 自主防災組織活動

2 防災リーダー活動

3 資機材

4 コロナ禍の取組

3 整備している 資機材のこと



使用に便利なガス発電機を整備

地区名：南湖地区

組織名：下町自治会防災会

自治会加入世帯：1250世帯

令和4年3月作成

活動内容

当会では、これまでガソリン式の発電機を使用してきましたが、機器のメンテナンスや使用後の処置、ガソリンの保管や取り扱いなどに課題があり、カセットガス式の発電機を整備しました。年間1回、動作点検を実施しており、電気式のチェーンソーなど、電力を用いる防災資機材の動作点検時にも活用しています。

家庭用カセットコンロなどに用いるカセットガスを燃料にしているため、ガソリンと違い保管も楽で、残燃料の処分等も気にすることなく、気軽に使用することができます。また、防災以外では、夏祭り等、夜間のイベント時の照明電源としても活用しています。



活動のポイント



一番のメリットは気軽に使えることだと思います。使用する機会も増え、取扱方法の習熟度も増すほか、多くの人の認知度も向上しています。災害時には様々な場面で多くの混乱が生じることが想定され、なじみのない資機材を取り扱うことには不安がありますが、日頃からよく使用することで、そうした不安の解消にもつながります。

イーバック+チェア（階段避難車）を整備

地区名：鶴嶺西地区

組織名：コスモ茅ヶ崎プレシオ防災対策委員会

自治会加入世帯：163世帯

令和4年3月作成

活動内容

コスモ茅ヶ崎プレシオは、南東向きと南西向きに住戸が配置され総戸数は163戸の11階建てマンションです。当マンションでは、停電時や災害時に、要援護者や負傷者等の避難に活用するため、階段避難車「イーバック+チェア」を整備しました。

一般的な棒担架は、階段の踊り場などでの展開が難しく、また、布製の簡易担架は最低でも支持者が4人は必要となりますが、このチェアは1人でも搬送が可能なのが最大の特徴です。

有事の際に速やかに使用できるよう、日頃は10階のエレベーターホールに備え付けています。



活動のポイント



コロナ禍以前は毎年1回、防災対策委員会を中心に取扱訓練を実施していました。実際に階段で訓練を行うことで、取扱い技術の向上が図られるほか、被災者の気持ちを知ることでもでき、大変効果的でした。

当会は、管理組合と自治会が協力して日頃の活動を進めています。防災訓練は、なかなか、住民が参加しないため、夏の夕涼み会とコラボし「防災祭り」として企画し参加の促進を図っています。

(1) 維持管理

① 維持管理

| | | | |
|----|---------------|-------------------|--|
| 1 | 定期的にチェック | 本町第一自治会防災会 | 機種、数量的には、現状でほぼ充足している。経年劣化したり、機能が陳腐化した物があれば逐時更新する。 |
| 2 | 防災倉庫の管理・整頓 | 茅ヶ崎グランドハイツ自治会防災会 | 防災倉庫担当で防災用品をチェックしてリスト化し、自治会役員に備蓄の重要性を説明している。 |
| 3 | 防災倉庫の更新 | 藤和茅ヶ崎ハイタウン自治会防災会 | 古くて小型だった防災倉庫を大型に更新し、数か所に分かれていた防災備品の集約に努めている。現在は緊急時に対応できるような鍵の管理方法を検討中である。 |
| 4 | 防災倉庫の整備 | パークスクエア湘南茅ヶ崎自主防災会 | 毛布や発電機などの基本的な機材は揃えてきたが、メンテナンスがなされていないことが課題。水害対策として、1Fの倉庫の備品を2Fの倉庫を新設して、部分的に移設することを検討中。 |
| 5 | 資機材・備品リスト作成 | 若松町幸自主防災会 | 各防災倉庫内の資機材・備品126品全ての写真を撮り、リストを作成して倉庫内の資機材の点検・整備をしています。年1回、棚卸をしています。 |
| 6 | 防災倉庫の整備 | 共恵東自治会防災会 | 防災倉庫3台ある内、不必要な備品の整理を行い不要分の処分を行った。 |
| 7 | 防災倉庫 | 東海岸北五丁目自治会防災会 | 設置場所が限られたうえ面積が狭いため、中小の防災倉庫を7基保有。 災害時の対応機器は水や簡易トイレとを含め大半の機器は在庫している。但し、数量は充分とは言えない。 |
| 8 | 防災倉庫の整理 | 浜見平団地自主防災会 | URより貸出しの防災倉庫（コンホール茅ヶ崎浜見平）を大災害時に適応（特にゲリラ豪雨、相模川の氾濫）できるように整理している。 |
| 9 | 保管している資機材について | 矢畑自治会防災会 | 防災倉庫には資機材が数多くある中、災害時必要となる資機材を10点選んで取扱いを含めて住民に説明をした。 |
| 10 | なし | TBS自主防災会 | 当自治会にはかなりの資機材はあります。ただ、コロナによって活動が思う様に出来ず、模索中です。 |

| | | |
|--------------------------------|-------------|-----------------|
| 11 | 防災資機材の整備・点検 | シヨクサンピラ自治会自主防災会 |
| 自主防災組織構成員全員で資機材の確認と補充を年1回実施した。 | | |

| | | |
|--|---------|--------------|
| 12 | 防災倉庫の整備 | 浜須賀自治会自主防災部会 |
| 当自治会には2基の防災倉庫があり、基本的には防災用とイベント用に分けている。この内No.1には防災用の中で①災害本部設置と同時に搬出・設営するもの（発電機、テント等で赤テープ）と状況によって使用する（担架、救助用機材セット等で緑テープ）に分類しその他についてはNo.2倉庫に移した。この事で倉庫スペースに余裕が出来、赤・緑の資材を倉庫内で分離・配置し緊急時に素早い対応が可能になった。 | | |

| | | |
|--|-----------------|-----------|
| 13 | 防災倉庫・自治会館の資機材整備 | 松風台自治会防災会 |
| 松風台では、消火活動・救出活動等項目分類し、3公園防災倉庫に保管、3ヶ月点検を行っています。停電時の自治会館照明確保として、ソーラー充電器・蓄電池・LED連結照明の整備を進めています。 | | |

② 整備・更新

| | | |
|--|-------------|-----------|
| 14 | 防災倉庫の備蓄品の充実 | 十間坂自治会防災会 |
| 十間坂区域内に6カ所の防災倉庫を設置し、可搬式発電機やトイレ関係、毛布等の備蓄に努めております。 | | |

③ 情報受伝達用

| | | |
|---|---------|------------------|
| 15 | 防災用品の購入 | 茅ヶ崎グランドハイツ自治会防災会 |
| 防災倉庫内の資機材を見直し、発電機・ヘルメットの補助金の申請をした。水も購入予定。 | | |

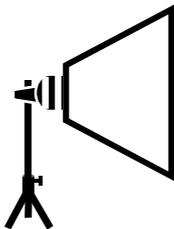
| | | |
|---|-----------|----------|
| 16 | 整備している資機材 | 中海岸自主防災会 |
| 発電機、大容量充電器、トランシーバー、飲料水、非常食、ヘルメット、チェーンソー、医療品、テント、リヤカー、等のメンテ、補充 | | |

| | | |
|--|---------------------------|----------|
| 17 | 防災活動拠点として備えるべき防災資機材リストの作成 | 上町自治会防災会 |
| 防災活動拠点として必要な防災資機材をリストアップし、優先順位を決めて当年度の予算範囲で補助金制度を利用して計画的に購入を始めている。 | | |

| | | |
|---|-----------------|----------------|
| 18 | 「共助」としての防災備蓄品整備 | 菱沼小和田自治会自主防災組織 |
| 今後も一般家庭では買い揃え難い防災備品や工具類、発電機・蓄電池の整備を行う。発電機はガソリン式からカセットボンベ式への移行を行う。 | | |

| | | |
|---------------------------------|------------|----------------|
| 19 | 防災備蓄品の配置計画 | 菱沼小和田自治会自主防災組織 |
| 今後、災害時に備えた防災備蓄倉庫の配置の見直しも検討していく。 | | |

| 20 | 消火器の定期的新旧入れ替え | 浜竹一丁目自主防災会 |
|--|---------------|------------|
| 2010年より毎年自治会員宅の玄関先に消火器を配備（合計112台）。2020年より有効期限10年を過ぎた消火器20台を新品と入れ替えをしている。 | | |



(2) 本部活動用資機材

① 本部設備

| | | |
|---|----------------|-----------|
| 21 | 防災倉庫に新規のテントを整備 | 西久保自治会防災会 |
| 防災本部の設営及び、撤収を速やかに行うため、テントを組み立て式から折りたたみ式に変更しました。 | | |

| | | |
|---|---------------|-------------|
| 22 | 防災本部自治会館の機能整備 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 浜之郷自治会館、災害本部にプロバイダ契約が終わりモデム、ルーターが取り付いた。通信連絡用パソコンと停電対策用に室内使用可能ポータブル電源の整備が終了した。 | | |

| | | |
|------------------------|--------|-----------------|
| 23 | テントを整備 | ニュータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| 災害時一時避難場所での受付、待機用のため購入 | | |

② 停電対策

| | | |
|--|--------------------|------------------|
| 24 | 停電時対策としてLPガス発電機を整備 | 茅ヶ崎グリーンハイツ自主防災組織 |
| 停電時対策ではこれまでガソリンエンジン発電機を保有し、燃料劣化やエンジン保守の問題を抱えていたが、LPガス発電機に切替えたことで長期安定した停電対策がとれるようになった。 保有機器はインバータ方式の〔交流100V×22A・直流12V×8.3A〕と〔交流100V×8.5A・直流12V×8.3A〕の2基。用途は照明やスマホ充電。カセットガスコンロも保有し、炊き出し用LPガスコンロも整備予定。 | | |

| | | |
|---|-----|-----------|
| 25 | 発電機 | 若松町幸自主防災会 |
| 発電機は2種類（ガソリン、カセットボンベ）があり、何時でも運転できるように燃料の点検をしています。 | | |

| | | |
|---|---------------------|---------------|
| 26 | ポータブル電源（バッテリー）の新規保管 | 東海岸北一丁目自治会防災会 |
| リチウムイオンバッテリー式のポータブル電源（充電用ソーラーパネル含む）を持つことにより、災害発生時の在宅避難者の多数のスマホ充電等を行えるようにした。 | | |

| | | |
|-------------------------|------------|---------------|
| 27 | ガソリン発電機の交換 | 東海岸北二丁目自治会防災会 |
| ガソリン燃料発電機をガスボンベ型発電機に交換。 | | |

| | | |
|---|--------------|-----------|
| 28 | カセットボンベ使用発電機 | 茶屋町自治会防災会 |
| 停電時に、災害対策本部の照明や情報収集するためのスマホ等の電池切れ（自治会員にも解放）対策用です。いつでも使用できるよう安否確認訓練時に動作確認をしています。女性でも稼働できる手軽さが便利。 | | |

| | | |
|---|------------------|----------|
| 29 | 【★】 ガス発電機を2セット保存 | 下町自治会防災会 |
| 今までガソリンによる発電機はガソリンの処置が難しく、いざという時に問題あり、投光器に使うとともにチェーンソーの運転訓練に使用している。 | | |

| | | |
|---|--------------|-----------------|
| 30 | ポータブル蓄電池と発電機 | サニータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| <p>防災会本部(=地域活動拠点)用としてポータブル蓄電池とカセットガス式発電機、LED投光器等を配備して停電時に備えている。防災リーダーが半年毎に試運転を行い操作確認している。</p> | | |

| | | |
|---|---------------|---------------|
| 31 | 家庭用の発電機の購入を検討 | 萩園サンハイム自治会防災会 |
| <p>災害に実際にあって停電したときに、集会所に発電機を設置しても、来れない人のために3年計画で購入を検討しています。</p> | | |

| | | |
|---|-----------|---------|
| 32 | ガスボンベ式発電機 | 高田自主防災会 |
| <p>ガソリン式の発電機が防災訓練でエンジン始動せず困ったので、今回LPGガス燃料式の発電機を購入。メンテナンスが楽になった。</p> | | |

| | | |
|---|----------|-----------------|
| 33 | 非常時の電源確保 | ニュータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| <p>生活の全てが電化されていく中で災害時の電源確保のための備品検討(ソーラー等自然エネルギーによる電源)</p> | | |

| | | |
|---|--------------|----------|
| 34 | 太陽光発電システムの導入 | 美住町自主防災会 |
| <p>携帯電話充電用太陽光発電システム導入(パネルと発電機100W)。</p> | | |

| | | |
|--|--------------|-----------------|
| 35 | モバイルバッテリーの整備 | ライトタウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| <p>ソーラパネル付きモバイルバッテリーを購入しました。今年の炊き出し訓練時に使い方を確認した。今後も機会を見て訓練に活用する。</p> | | |

③ 情報受伝達用

| | | |
|---|----------|-----------|
| 36 | 簡易無線機の整備 | 十間坂自治会防災会 |
| <p>災害時における一時退避場所等との通信手段として、簡易無線機を8台保有し、今年度新たに2台の購入を予定し、迅速な情報受伝達を図ります。</p> | | |

| | | |
|---|---------------|-----------|
| 37 | トランシーバーデジタル使用 | 共恵東自治会防災会 |
| <p>アナログ使用できなくなる為、アマチュア無線協会の方によるトランシーバー取り扱い説明会を実施。</p> | | |

| | | |
|--|--------------|--------------|
| 38 | デジタル簡易無線機の購入 | 共恵海岸通り自治会防災会 |
| <p>アナログ簡易無線機の使用停止期限が迫っているため、来年度茅ヶ崎市の補助金をいただいてデジタル無線機を購入する予定です。</p> | | |

| | | |
|--|----------------|---------------|
| 39 | 高感度のトランシーバーの整備 | 東海岸北一丁目自治会防災会 |
| <p>高感度のトランシーバーを防災リーダーの本部員及び各班班長に配備することにより、地域内及び地域と避難所間の連絡がスムーズに行えるようにした。また、これを活用した防災訓練を実施している。</p> | | |

| | | |
|---|----------------------|---------------|
| 40 | トランシーバー更新中 | 東海岸北二丁目自治会防災会 |
| トランシーバー（主に自治会役員用）25台を4年かけて更新中（アナログからデジタルタイプへ） | | |
| 41 | トランシーバーの充実 | 東海岸北五丁目自治会防災会 |
| トランシーバーは現在21台保有。防災部会上層部と14地区委員が保有。今年度5台購入予定 | | |
| 42 | トランシーバー3台追加配備 | 東海岸南二丁目自治会防災会 |
| 当会の予算との兼ね合いもあり、徐々に拡充をしているが、令和3年度は3台を追加購入した。月1回の通話訓練実施中。 | | |
| 43 | トランシーバー購入 | 下町自治会防災会 |
| 金額が高いため少しずつ増しており、現在、自治会三役と防災リーダーの代表が保持 | | |
| 44 | 携帯型デジタルトランシーバー充電機の交換 | 柳島自治会自主防災会 |
| 購入後8年経過のトランシーバー充電機を交換した。充電器に入れても充電できないものを含め交換実施。今後、携帯型デジタルトランシーバーの管理表を作り、購入日、携帯者、充電機交換時期を記載し管理する。 | | |
| 45 | ロングアンテナで電波障害解消 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 浜之郷自治会館、災害本部前にマンションが有り指定避難場所の浜之郷小学校への電波障害を受けていた。ロングアンテナで障害解消した。 | | |
| 46 | 防災無線 | 今宿自治会自主防災会 |
| 毎月1・15日に防災無線交信テストを行っているが、本部と相手の交信は出来ても所持者同士の傍受が出来ないので、無線機のアンテナをロングタイプに変更を進めている。 | | |
| 47 | トランシーバーの整備 | 赤松町自治会自主防災組織 |
| 情報連絡手段としてトランシーバーを整備し役員、防災リーダーに貸し出し、年3回の感度試験と行政が避難所開設した場合はすぐ対応できる体制を整備する。 | | |
| 48 | トランシーバー配備 | 美住町自主防災会 |
| 緊急連絡用トランシーバーの配備（9台）。 | | |
| 49 | トランシーバの更新 | 松風台自治会防災会 |
| 2019年にデジタル無線機VXD-20への切換えを行い、従来3台の所有を4台に増やし整備しました。これにより、松風台内のみでの交信から湘北地区および市内地域との交信が可能となりました。 | | |



(3) 避難対策用資機材

① 避難支援

| | | |
|---|------------------------|-------------------|
| 50 | 会員の自助意識の向上 | 本町第一自治会防災会 |
| 毎年新任の組長さんに自治会名入りのヘルメットと高照度の懐中電灯を配布し、防災意識の向上を図る。 | | |
| 51 | 救護用の階段避難機具・用具を整備 | 茅ヶ崎グリーンハイツ自主防災組織 |
| 歩行困難な傷病者や高齢者を救護又は避難支援する際の機具・用具として階段下降機器（レスキュースライダー）、救助搬送用具（布担架）を保有し、使用訓練を実施している。 階段下降機器（レスキュースライダー）は使い慣れが必要だが平地での移動は優しい。救助搬送用具（布担架）は狭い階段でも3人で速やかに降ろすことが可能。状況に応じて選択することとしている。 | | |
| 52 | ヘルメットの配布 | 東海岸北二丁目自治会防災会 |
| 毎年、新年度に新組長にヘルメットを配布している。 | | |
| 53 | ヘルメット | 茶屋町自治会防災会 |
| 10年計画で全戸に1つ配布。現在6年目です。 | | |
| 54 | 防災ヘルメットの更新 | 西久保自治会防災会 |
| 日頃の保管場所を容易にするため、ヘルメットを丸形から折りたたみ型に変更・更新しました。 | | |
| 55 | 集合住宅団地としての災害用備品 | サニータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| 自治会各世帯にヘルメットとレスキューホイッスルを配布。戸建26棟と集合住宅11棟の団地であり、戸建エリアと各棟階段室に布製担架とヘルメットを配備して救出救護対応している。 | | |
| 56 | 【★】イーバック+チェア(階段避難車)の設置 | コスモ茅ヶ崎プレシオ自治会防災会 |
| ひとりで傷病者を階段で運べるようイーバック+チェアを設置。(当マンションは、4F,7F,10Fにエレベータが止まらないため、停電時以外でも必要となるため) | | |
| 57 | 安否確認用日本手拭を制作 | 浜竹一丁目自主防災会 |
| これまでのバンダナはあまり目立たないのと紛失が相次いだため、黄色地の日本手拭に「無事です」を上下に表記した日本手拭を制作、全世帯に配布をする。 | | |
| 58 | ヘルメット及び自転車を購入 | 湘南ライフタウンF地区茅ヶ崎防災会 |
| ヘルメットは劣化が進んでいるので代替した。 自転車は、災害時の連絡移動手段（情報、確認）として、機動力を高めるために購入した。 | | |

② 要支援者避難支援

| | | |
|------------------------------------|---------------|------------------|
| 59 | 要支援者の避難用機材の購入 | 藤和茅ヶ崎ハイタウン自治会防災会 |
| 歩行困難な要支援者の避難支援のため、階段避難車や簡易担架を購入した。 | | |

| | | |
|--|-----------|--------------------|
| 60 | 避難用背負子の整備 | レクセルマンション茅ヶ崎自主防災組織 |
| マンション特有の問題である上層階の要支援者の搬送に関して、搬送者の負担軽減のために、背負子式の搬送用具を整備。コンパクトに移動でき、両手が使用できるので安心して利用できる。 | | |

| | | |
|--|-----|-----------|
| 61 | 車椅子 | 若松町幸自主防災会 |
| 新たにノーパンクタイヤの車椅子を各防災倉庫に1台ずつ(計3台)設置しました。 | | |

| | | |
|---|---------------|------------------|
| 62 | 車椅子を常時使える様に設置 | コスモ茅ヶ崎プレシオ自治会防災会 |
| 発電機、非常用トイレ等の防災備品を整備。車椅子は、災害時だけでなく、普段、高齢者や傷病者に使えるようにエレベータホールに設置している。 | | |

③ 避難場所

| | | |
|---|-----------|-----------|
| 63 | 宿泊用テントの備蓄 | 出口町自治会防災会 |
| 避難所ではどうしても生活できない人が出る可能性があるため、宿泊用テント（キャンプ用テント）を購入した。 | | |

| | | |
|---|---------------|--------------|
| 64 | 災害時の様々な場合に備えて | 松が丘ハイツ自治会防災会 |
| 基本は在宅避難だが、建物にダメージがある場合、隣の公園を簡易避難場所にする可能性があり、防寒ベッド、毛布、発電機による電気ストーブ等を用意。汚水管内のチェックのためファイバースコープも導入した。 | | |

| | | |
|--|----------------|--------------|
| 65 | 自治会館にパイプ椅子等を備蓄 | 芹沢東部自治会自主防災部 |
| 小出地区では、局所的な風水害のような災害があっても、自宅にとどまっていれば、井戸水や食料（農産物）があるので、避難所に移動するよりも安全と思います。 | | |



(4) 生活支援用資機材

① 非常食・飲料水等

| | | |
|---|-------------|-----------------|
| 66 | 災害時の飲料水補給装置 | オクトス湘南茅ヶ崎自主防災組織 |
| 15階建て(2棟)のマンションであるオクトスは災害時に停電をすると水道は直ちに停止する。3日間は自宅保存のペットボトル等で各戸が対応。その後、受水槽タンクの水道を2台のエンジンポンプ(地上と10階にセット)により昇圧し、各階エレベーター横の臨時給水弁より飲料水用として補給する。 | | |

| | | |
|---|-----------------|-----------|
| 67 | 非常食、水の保管貯蔵を止める。 | やよい会自主防災隊 |
| 従来は、上記を各30名分用意していたが、歳月が経ち、期限切れがあったりして、保存場所もなくなり、管理も大変となることから、自治会としての備蓄は止め、各個人での備蓄をするよう徹底する。 | | |

② トイレ対策

| | | |
|--|---------------|---------|
| 68 | 非常時用トイレサンプル配布 | 高田自主防災会 |
| 水洗トイレが使えなくなった時に使う「固めるトイレ」を防災訓練に参加したメンバーに配布。個人宅での準備をすすめた。 | | |

③ 生活用水

| | | |
|---|---------|--------------|
| 69 | 防災井戸の設置 | 松が丘ハイツ自治会防災会 |
| 災害時の断水に備え、敷地内に手動式の井戸を設置した。水質検査を行った結果、大腸菌が不検出だったので、飲料以外の日常用水として使用できる。水質を安定させるため、毎日汲出しを行っている。 | | |

④ 感染予防

| | | |
|--|----------------|-----------|
| 70 | 防災倉庫に感染症予防薬品備蓄 | 出口町自治会防災会 |
| 感染予防のための薬品類等を備蓄することにし購入しました。倉庫の不足と薬品等の交換・補充が課題となります。 | | |



(5) その他**① 地震対策**

| | | |
|--------------------------------|------------|-----------------|
| 71 | 感震ブレーカーの配布 | ライトタウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| 自治会の希望者（ほぼ全戸）に感震ブレーカーを購入・配布した。 | | |

| | | |
|---|------------------|----------|
| 72 | 防災倉庫に軽可搬消防ポンプを導入 | 堤上自治会防災会 |
| 地域に防火水槽が多く、移動式ホース格納箱では不安がある。1月のどんど焼きの時に火を取り扱うので、子供達を集めて水消火器訓練など行い、最後に軽可搬消防ポンプを使用して子供達や消防団と協力して消火し、後片付けを行った。 | | |

② 風水害対策

| | | |
|---|----------|------------|
| 73 | 豪雨時の排水処理 | 今宿自治会自主防災会 |
| 地区では田んぼが無くなり雨水の行き場が無くなり、排水ポンプエンジンをメンテナンスして使用出来るようにした。 | | |

③ 救命用資機材

| | | |
|--|----------|------------------|
| 74 | A E Dの設置 | 藤和茅ヶ崎ハイタウン自治会防災会 |
| 管理人室入口付近にAEDを設置し、メンテナンス契約を締結して緊急時に備えている。 | | |

④ 訓練用品

| | | |
|------------------------|----------------------|-----------------|
| 75 | H U G(避難所運営ゲーム)カード1式 | 茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会 |
| H U G 練習会実施のために購入しました。 | | |

4 コロナ禍で 新たに取り組んだこと、 工夫したこと



防災活動事例紹介

ホームページに防災情報を掲載

地区名：鶴嶺東地区

組織名：浜之郷自治会自主防災会

自治会加入世帯：1650世帯

令和4年3月作成

活動内容

浜之郷自治会は、自治会の活性化につなげることを目的として、令和3年度からホームページを開設しました。ページ内では、自主防災会年間行事計画、直近事項、調査報告／議事録、浜之郷自主防災会運営マニュアルや市防災情報を掲載し、住民へ防災事項を提供しています。この他にも、自治会の年間計画や活動報告、サークルの紹介などを掲載しています。コロナ禍で思うような会議や、印刷物の配布が進まない中、ホームページを活用することにより、リアルタイムで情報が発信できるように自治会全員参加で心掛けています。



活動のポイント

住民が、どのような情報が欲しいか、受け手側の立場で掲載情報を検討しました。また、できる限り最新の情報を掲載することで、回覧などを見逃した人も、このホームページを閲覧することにより、必要な情報や地域の活動を知ることができようとしています。

防災活動事例紹介

安否確認訓練とアンケートを同時に実施

地区名：小出地区

組織名：芹沢東部自主防災組織

自治会加入世帯：184世帯

令和4年3月作成

活動内容

令和3年度の芹沢東部自治会の個人会員数は184戸で、12組があります。当会は、災害時の被害を少なくするためには、地縁に基づく住民同士の普段からの付き合いが重要であると捉え、こうした絆を維持に基づく実効性のある安否確認手段を探るために、安否確認訓練に合わせて、次の方法でアンケートを行いました。

- ①事前に、安否確認票とともにアンケート用紙を各戸に配布。
- ②回覧板で周知しておいた日時に、組長が各戸から回収し、集計。
- ③役員会及び回覧で、結果をフィードバック。（回答率約82%）

アンケート結果から、多くの住民が、災害時の安否確認に関心を持っていることが認識できたので、今後の取り組みにつなげていきたいと考えております。

令和3年11月21日(日) 芹沢東部自治会 安否確認訓練

安否確認用紙 訓練用

※9時00分までに、下の該当の に を付け、ご自宅の玄関前または門前の外から取れる場所に置いてください。組長が回収します。

無事です。

家屋に損壊はありません。

()組 お名前 姓名()

※ 裏面のアンケートにもご協力をお願いします。

今後の安否確認実施の参考にするため、以下のアンケートにご協力をお願いします。

(1) (お答えなければお答えください)
現在、何人でお住いですか？ ()人

(2) 実際の災害時には、私の家に確実に安否確認をして欲しい。
(その場合、自治会でご連絡先等を預かることになります)
 はい いいえ ご意見を余白にお書きください。

(3) 実際の災害時に役立つ防災訓練の方法があれば、ご提案ください。

ありがとうございました。ご回答は集計結果のみ公表します。

活動のポイント

アンケートに際しては、プライバシーに立ち入りすぎないように、特に配慮しました。また、実際の災害時に役立つ防災訓練の提案を募集をしたところ、地震や土砂災害の発生時に隣近所でできることを確認する訓練、災害時に自発的に行われる近所同士の安否確認結果を報告する仕組みづくり等の提案がありました。今後も引き続き、地域の災害特性と住民の意向を踏まえて、防災活動に取り組んでいきたいと思っております。

(1) Web・SNS等の活用**① 会議・打合せ等**

| | | |
|--|-------------------|------------------|
| 1 | オンライン会議やWebの運用を検討 | 茅ヶ崎グリーンハイツ自主防災組織 |
| 管理組合で定例会議にZOOMによるオンライン会議を運用しWebサイトも準備しており、自主防災会役員会でも共同運用を検討中。机上防災訓練への利用や情報発信ツールとしても活用する考え。 | | |
| 2 | オンラインミーティングを実施 | 茶屋町自治会防災会 |
| 今年度の震度4の地震時に、メールやLINEでマンション等の被害状況の確認・情報共有を図りました。（これにより、一部のマンションでのエレベーター停止が確認できました。） | | |
| 3 | オンラインミーティングを実施 | 赤松町自治会自主防災組織 |
| 防災役員及び副会長の打ち合わせをGoogleMeet を用いてオンラインで実施。 | | |
| 4 | リモート会議の試行 | 菱沼小和田自治会自主防災組織 |
| 緊急事態宣言期間の会合が行えない対策として各自のスマホやPCでリモート会議を試行した。トランシーバと並行して災害時・緊急時にも活用可能を確認出来た。 | | |

② 情報共有

| | | |
|--|--------------------------|-----------------|
| 5 | 【★】 ホームページに防災情報提供 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 浜之郷ホームページへ自主防災会年間行事、直近事項、調査報告議事録、浜之郷自主防災会運営マニュアルや茅ヶ崎市防災情報の提供を実施し浜之郷住民へ防災事項を提供している。コロナ禍で会議、配布、など非接触到にホームページを活用している。 | | |
| 6 | ホームページの充実とラインの活用 | 茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会 |
| 防災関係事業がほとんど中止されたので、防災の情報を広く発信する努力が求められています。従来まちから協議会連絡会に依頼していたホームページの作成・更新を、昨年7月から自力で行うようにしました。更新の回数と記事を増やして、防災リーダー協議会の活動や考えを多くの人に知ってもらおう努力をしています。またコロナ禍のため多数の会合を頻繁に開くことが難しいので、ほぼすべての協議会構成員をグループラインでつないで、会えなくても意思疎通ができるようにしています。 | | |
| 7 | スマホ（LINE）の利用 | 西久保自治会防災会 |
| 日頃の連絡や情報共有（現地レポート等）にスマホ（LINE）を利用するようになりました。 | | |
| 8 | 携帯メールで共有 | TBS自主防災会 |
| オンラインを活用出来るリーダーが少なく、携帯に頼るしかなくリーダーの意見を聞いたり、報告をしました。リーダーの高齢化で無理は出来ません。とにかくこの2年間はコロナ対応で活動が全て止まってしまい、不安ばかりが増しました。 | | |

③ リモート学習

| | | |
|---|---------------------|------------------|
| 9 | オンライン防災訓練(リモート防災学習) | コスモ茅ヶ崎プレシオ自治会防災会 |
|---|---------------------|------------------|

コロナ禍で集まっての防災訓練ができないため、各自のパソコン、スマホで、東京消防庁のホームページにあるリモート防災学習で、オンライン防災訓練を実施した。



(2) 工夫した会議・打合せ等**① 屋外会議等**

| | | |
|--|------|-----------|
| 10 | 青空会議 | 若松町幸自主防災会 |
| <p>集会所、公園、広場がない地域です。防災会議は防災倉庫の横、個人宅のデッキ、SNSで実施しています。外作業は、感染症対策をしつつ進めています。(発電機運転、街頭消火器の箱の色塗り、防災倉庫周りの整備、安否確認訓練の整備)</p> | | |

| | | |
|--|----------|----------|
| 11 | 野外ミーティング | 美住町自主防災会 |
| <p>地域内公園を利用して、ソーシャルディスタンスを守る円座の設営。</p> | | |

② 3密回避

| | | |
|--|-------------|------------|
| 12 | 組長会のあり方への考察 | 本町第一自治会防災会 |
| <p>一堂に会すれば自治会役員（19名）組長（88名）で100余名の密会となる為、組長を3グループに分割し、蜜を避け、消毒、換気に留意し、短時間で実施。</p> | | |

| | | |
|--|---------------------|----------|
| 13 | 三密を避けるため全体会議を省略して実施 | 矢畑自治会防災会 |
| <p>防災訓練実施計画を実行委員会で計画案を作成、自治会回覧や実施内容を全戸配布して全体会議を省略して実施。</p> | | |

| | | |
|--|-------------|------------|
| 14 | 会議室も大会議室を使用 | 浜竹一丁目自主防災会 |
| <p>防災リーダー会議は20名前後収容の会議室を使用していたが、「3密」を避けるため、40名～50名収容できる会議室を使用。</p> | | |

③ 感染予防

| | | |
|---|----------|------------|
| 15 | 会議前に体温測定 | 浜竹一丁目自主防災会 |
| <p>防災リーダー会議は非接触式体温計で体温測定を行い、参加者全員の健康チェックしてから始めるようにしている。</p> | | |

| | | |
|---|-------------|-----------|
| 16 | 自治会運営に合せた活動 | 松風台自治会防災会 |
| <p>体温チェック・マスク着用・アルコール消毒・部屋の換気等、自治会活動での申合せ事項に沿って活動を進めました。緊急事態宣言が発令された段階では年間計画の見直しを行い一部活動を制限しました。</p> | | |

(3) 工夫した訓練・住民啓発等

① 住民アンケート

| | | |
|---|-------------------------|--------------|
| 17 | 【★】安否確認用紙で安否確認とアンケートを実施 | 芹沢東部自治会自主防災部 |
| <p>あらかじめ安否確認用紙を各会員に配付しておき、自治会の各組長が11月21日（日）午前9時に各戸から回収し、芹沢東部自治会館で集計した。用紙の裏面で、各戸の同居人数と、実際の災害時に有効な安否確認の方法の提案を聞くアンケートを行った。それらの結果を後日の役員会で検討した。</p> <p>昨年度の安否確認訓練では、各戸に、災害時に自宅を訪問して安否確認を行って欲しいか、及びスマホやパソコンの通信で安否が確認できるかをアンケートで聞きました。</p> | | |

② 住民周知・啓発

| | | |
|---|--------------|-------------|
| 18 | 安否確認訓練チラシの工夫 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| <p>安否確認訓練の1ヶ月前よりコロナ対策をお願いした回覧、ポスター、チラシを作成した。テーマを決めてコロナ感染予防を呼びかけた。</p> | | |

| | | |
|--|----------------|-----------------|
| 19 | 在宅避難と生活支援体制の周知 | サニータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| <p>住民の行動参加型の自主防災訓練ができない状況なので、各世帯で在宅避難に備える取組みの確認と、自主防災組織としての生活支援体制について周知のための情報発信を続けている。</p> | | |

| | | |
|-------------------------------|------------|----------|
| 20 | 防災啓発チラシの作成 | 美住町自主防災会 |
| <p>チラシ内容；コロナ禍での避難所における注意。</p> | | |

| | | |
|--|---------|--------------|
| 21 | 在宅避難の周知 | 浜須賀自治会自主防災部会 |
| <p>コロナ禍に拘わらず「極力避難所へは行かない」ことをあらゆる機会に住民への周知を図っている。避難所は衛生面、精神面、健康面等で問題が多く「行かなければいけない」ものでなく「どうしようもない場合のみ行く」ことをアナウンスしている。具体的には「防災通信（4回/年発行）」で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうして在宅避難が重要か？避難所生活での弊害、在宅避難を可能にするには何が必要か ・ 避難所の受入れ人数（コロナ禍で更に減少）の問題で受け入れて貰える保証がない <p>等の内容で自治会回覧、要支援者に戸別配布等の対応をしている。又、近隣や親しい人へこの旨の話を防災リーダー、民生委員児童委員を中心にするようにしている。避難所神話は既に崩壊している事を多くの方が認識する必要がある。</p> | | |

| | | |
|---|---------------|--------------|
| 22 | 防犯パトロールの活動の継続 | 松が丘ハイツ自治会防災会 |
| <p>コロナ禍ではあるが、防犯パトロールは安全を保ちながら行っている。敷地周辺は小中学生の通学路でもあり、事故の予防や見守り、不審者や放火などの抑止の効果は、地域全体の安全にかなり寄与出来ていると思う。</p> | | |

| | | |
|--|-------------|------------------|
| 23 | 防災広報の発刊を考える | 茅ヶ崎グランドハイツ自治会防災会 |
| <p>避難訓練がコロナで中止。広報で防災活動を伝える取り組みを考える。高齢化を考えて文章と動画で自助・共助に視点を当てた居住者用の防災広報（A4 1枚）</p> | | |

③ 非対面での訓練

| | | |
|--|--------------------|--------------------|
| 24 | インターホンによる安否確認の集中管理 | レクセルマンション茅ヶ崎自主防災組織 |
| マンションならではの、管理人室での一括管理が出来るようになっており、インターホンにより各戸との連絡が取れるようになっており、対面での確認ではなく安全且つ迅速に安否確認が行える。 | | |

| | | |
|---|---------------------|----------|
| 25 | 対面式ではない避難行動要支援者への取組 | 中海岸自主防災会 |
| 自治会理事、民生委員、防災会合同で、避難行動要支援者（対象者全員）へ「見守りしている」主旨の手紙をポスティング（手紙の内容については、防災会より提案し、自治会と民生委員さんからの修正案を入れて作成） | | |

| | | |
|---|-------------|---------------|
| 26 | 役員の緊急連絡網の訓練 | 東海岸南二丁目自治会防災会 |
| 当会では「会長→役員経由→組長→各会員」間の緊急連絡網を作っている他、「会長↔役員」間の緊急連絡網も有り、これを事前通知有りのケースや無しのケースで訓練を行っている。 | | |

| | | |
|---|-----------------|-----------|
| 27 | 対面式ではない安否確認訓練実施 | 西久保自治会防災会 |
| あらかじめ日時を設定しておき、決まった時間になったら無事を知らせるサインとなるタオルをドアノブ・門扉等に掲げてもらい、そのタオルを地区の担当者が見回るといった内容にしました。 | | |

| | | |
|---|------------------|-----------------|
| 28 | 対面式ではない安否確認訓練を実施 | ショクサンビラ自治会自主防災会 |
| あらかじめ日時を指定しておき、決まった時間になったら無事を知らせるサインとなる表示札を外から見える位置に掲示してもらい、その表示札を自治会の各班長が見回るといった内容で実施した。 | | |

| | | |
|--|------------------|--------------|
| 29 | 対面式ではない安否確認訓練の実施 | 赤松町自治会自主防災組織 |
| 日時を指定して、決まった時間になったら、無事を知らせるハチマキをドアノブにプレート(マンション)を玄関ドアに掲げてもらい、それを防災リーダー、担当者が確認に回るといった内容にしました。 | | |

| | | |
|---|-----------------|--------------------|
| 30 | 対面式でない安否確認訓練を実施 | 湘南ライフタウンF 地区茅ヶ崎防災会 |
| 11月27日地震発生（時間）設定して無事を知らせるサインとしてタオルを玄関ノブ等に掲げてもらい、街区委員が地震発生後確認した結果として全体軒数222軒で無事確認197軒（88.7%）不明軒数25軒（11.3%）でした。 | | |

| | | |
|--|------------------|-----------|
| 31 | 安否確認の為に旗出し訓練の実施。 | やよい会自主防災隊 |
| 毎年実施している防災訓練の一環として実施している安否確認のための旗出し訓練のみを実施。旗の出ていない家にはインターホンを通じて状況把握。 | | |

④ 3密を回避した訓練

| | | |
|---|-----------------------|---------------|
| 32 | コロナ禍での安否タオル活用の防災訓練の実施 | 東海岸南一丁目自治会防災会 |
| 三密を避けた実施方法で安否タオル活用の防災訓練を10月に実施し2回目を3月に実施予定、同時に役員・グループリーダーによるトランシーバー情報伝達訓練を実施。 | | |

| | | |
|---|-------------------------------|-------------------|
| 33 | 小型トランシーバーの通信確認 | サニータウン茅ヶ崎自治会防災会 |
| <p>団地エリア内の端から端まで小型トランシーバー(8台保有)で通信状況を確認して、敷地内被災状況や要救護者情報など防災会本部との連絡体制を確認している。</p> | | |
| 34 | 防災訓練計画変更 | 松風台自治会防災会 |
| <p>例年、市消防職員の派遣を要請し放水訓練を実施していましたが、昨年・本年と残念ながら中止とせざるを得ませんでした。2021年度は安否確認訓練後、放水訓練に変え消火器取り扱い訓練を行いました。</p> | | |
| 35 | シナリオ型避難所開設訓練に参加(藤沢大庭小学校バージョン) | 湘南ライフタウンF地区茅ヶ崎防災会 |
| <p>大庭小学校避難施設運営委員会の役員のみで、書面による避難所開設訓練を行った。</p> | | |



(4) その他**① 組織活動の向上**

| | | |
|--|-------------|-----------|
| 36 | 地域地図への落とし込み | 共恵東自治会防災会 |
| 消火栓放水機材1台、市消火器置き場5ヶ所、自治会消火器14本、一時避難場所、防災倉庫、各組の区域を表す、防災班地域を表す | | |

| | | |
|--|-------------------------------|-----------------|
| 37 | 防災マニュアルの再確認と防災倉庫内の資機材の配置等の再確認 | オクトス湘南茅ヶ崎自主防災組織 |
| アウトドアの活動が困難な時期であればこそできることとして行った。防災マニュアル〈災害対策本部用〉の130か所を訂正・修正した。また、緊急時に対応しやすいように、防災倉庫内の資機材の配置変えをした。 | | |

| | | |
|---|---------------------|-----------------|
| 38 | 防災リーダーへの防災資料と防災食の配布 | 茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会 |
| コロナ禍により防災リーダーの活動の場や結集の機会が著しく減少している現状を考慮して、今年度の初めに、防災リーダー協議会の活動への理解と参加を促すために、茅ヶ崎南地区の全防災リーダーに防災資料と防災食を配布しました。 | | |

② 資機材整備・点検等

| | | |
|--|-----------|------------------|
| 39 | 防災資機材の見直し | 茅ヶ崎グランドハイツ自治会防災会 |
| 古い簡易トイレ等処分する。避難行動要支援者リストの取扱い場所等について話し合う。 | | |

| | | |
|---|-------------|-----------|
| 40 | 街頭消火器の箱の色塗り | 若松町幸自主防災会 |
| 室内会議を見合わせている現状で、どのような活動ができるかを協議した結果、街頭消火器の箱の色塗り案ができました。行政の確認・許可を得て、地域に設置されている街頭消火器の箱の色が剥がれている箱、目立ちにくくなっている箱を順次、赤ペンキで色塗りをしています。字の所はマスキングをしています。地域の街頭消火器設置数は全部で28基あります。 | | |

| | | |
|---|-------------|----------|
| 41 | 移動式ホース格納箱点検 | 上町自治会防災会 |
| コロナ禍で移動式ホース格納箱による放水訓練が中止となり、防災リーダーで移動式ホース格納箱の備品点検と操作手順の確認を実施した。 | | |

| | | |
|-----------------------|-------------|----------|
| 42 | 新たな防災資機材の検討 | 堤上自治会防災会 |
| 感染症対策等考慮して、防護服等を購入した。 | | |

③ 要支援者支援体制

| | | |
|--------------------------|---------|-----------|
| 43 | 高齢者への対応 | 共恵東自治会防災会 |
| 民生委員2人と名簿に記入されている家の確認を実施 | | |

④ その他

| | | |
|---|--------------------|-------------------|
| 44 | 集合住宅に併設している共有施設の管理 | パークスクエア湘南茅ヶ崎自主防災会 |
| 換気・人数制限・消毒を実施し、さらに緊急事態宣言下ではマンション住人のみに開放を限定。 | | |

| | | |
|--|---------------------|--------------|
| 45 | 長年の懸案事項を少しずつ解決する時間に | 松が丘ハイツ自治会防災会 |
| 大地震の際の水の使用に関する問題は、今までなかなか手を付けられなかったが、汚水管の損傷を簡易的に判断する方法をテストするなど解決に一步進んだ。防災に関するアンケートもいくつか実施した。 | | |



令和5年度

I みんなの防災展

知って得する！
自宅の備えと地域の備え

みんなの防災展



in 市役所分庁舎6階
コミュニティホール

2月17日(土) 13時から 16時まで

それぞれのご家庭で
「備えておく」とよい物品」や
地域の自治会・自主防災組織が
日頃取り組んでいる「防災活動」を
紹介します。

申込不要（誰でも参加できます）
来場者には備蓄食をプレゼント



実際の取り組みを
「見て」「知って」
いまいちど
災害への備えを
確認しましょう。



市ホームページからも
詳細を確認できます



備蓄食糧のほかに
も備えていますか？



非常食と防災クッキング



停電時に必要な
発電機やバッテリー
備えていますか？



備えの木に
花を咲かせて

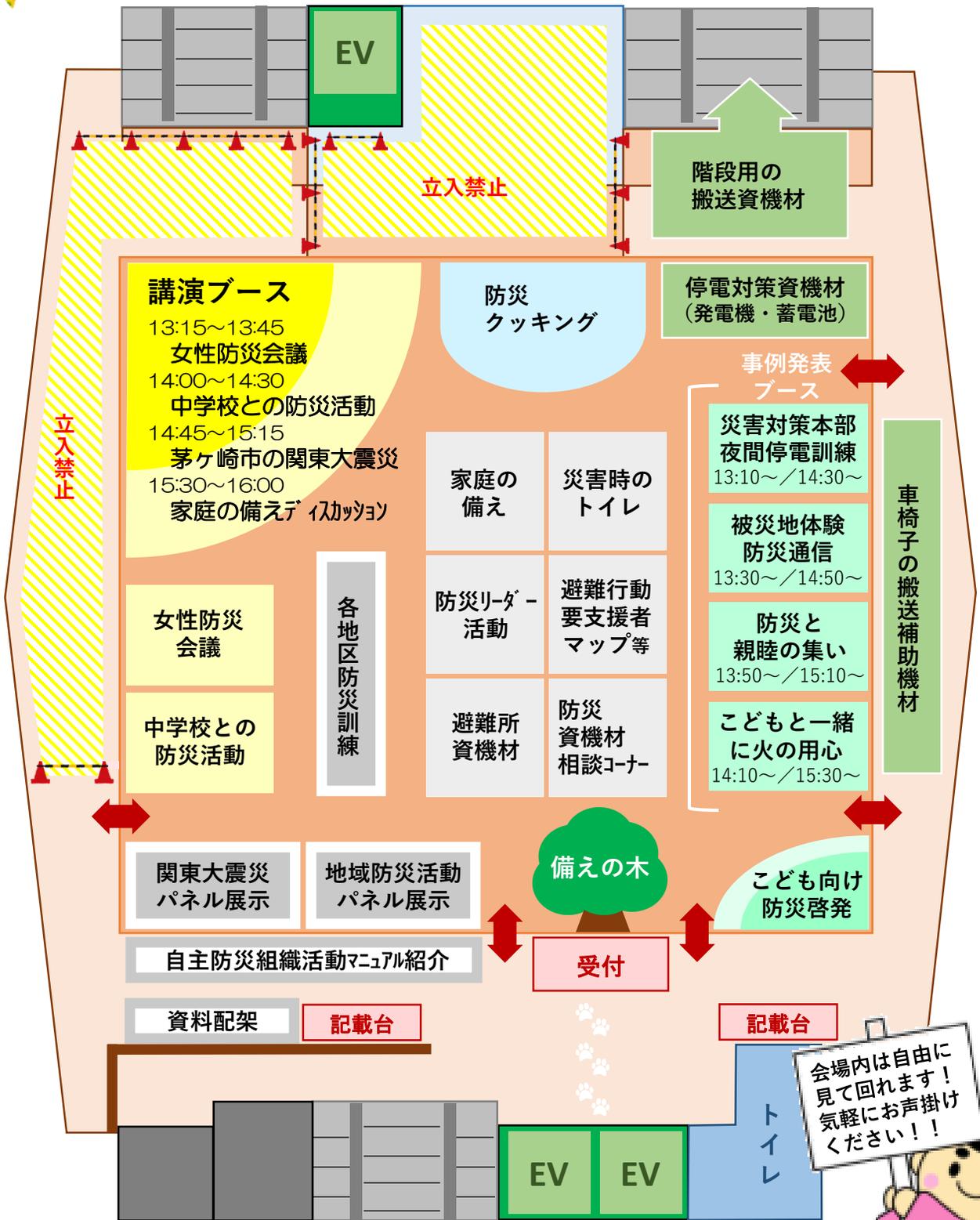


避難行動要支援者マップ

要支援者マップや
搬送支援用の資機材紹介

会場案内図

(分庁舎6階コミュニティホール)



会場内は自由に
見て回れます！
気軽にお声掛け
ください！！

事例発表ブースでは、それぞれ記載の時間からおよそ15分程度の事例発表を行います。
※各ブースでは、取り組みを紹介するパネルを展示していますので、
発表時間以外でも自由にお越しください。

防災資機材相談コーナーでは、専門業者に防災資機材について相談することができます！

展示や発表内容については予告なく変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

女性防災会議 ～防災活動に女性の視点を～

地区名：海岸地区

組織名：海岸地区まちぢから協議会

令和6年2月作成

活動内容

海岸地区まちぢから協議会では、女性防災会議を開催し、防災活動に女性ならではの視点で「防災・災害」を捉え、避難所運営方法や意見交換、備蓄の見直しに反映させています。

平日の昼間に発災した場合、男性の多くは茅ヶ崎市を離れていることが想定されるため、女性達が「地域防災の要」となります。平常時から多様な女性の思いを集約し、確かな行動につなげるのが重要です。

災害時の避難所運営は妊産婦・乳幼児・要支援者などへの女性特有の目線での対応が必要です。また、男性と女性では災害時に抱える困難や必要とする支援ニーズも異なります。そのため、避難所運営の意識決定の場には女性の視点が必要です。



活動のポイント



防災活動の場に女性の意見を取り入れることは重要ですが、防災の会議や打合せで意見をいきなり出すことにハードルを感じるかと思います。まずは、女性だけで集まり、意見をまとめて防災部会などの場で意見を共有することでも構いません。お茶をしながら防災について話してみることも有効です。

中学生との防災まちづくり

地区名：松浪地区

組織名：松浪地区まちぢから協議会

自治会加入世帯数：7, 820世帯（令和5年4月1日時点）

活動内容

○地域マップづくり

松浪中学生が地域をめぐり防災マップを作成。自主防災組織も一緒に地域をめぐり防災リスクや防災資源を共有している。

令和5年度は地区防災訓練で防災マップの発表を行いました。



○あいさつの街の看板作成

松浪中学校の美術部に制作していただいています。普段何気なく交わすあいさつは人と人の心を結びます。顔の見える関係づくりをすすめ、困ったときには助け合う地域を目指しています。



活動のポイント

日頃から「あいさつ」「声掛け」すると、顔の見える関係が構築でき、災害が起きた時、スムーズに助け合うことができます。発災時は中学生を含めて地域での協力が不可欠です。地域と中学生が一緒になってまちづくりを進めることは防災だけでなく、様々な面で大切と考えています。



つつみかみ通信の回覧で防災意識を冷まさない！

地区名：小出地区

組織名：堤上自治会防災会

自治会加入世帯：282世帯

令和6年1月作成

活動内容

堤上地区は市街化調整区域の為に、庭先がある世帯が多い事から、**災害の際には出来るだけ避難施設の世話にならない！**を目標に日頃から家屋が台風や地震で損傷しない様に各自整備をしてもらっています。**避難所には出来る限り行かない！**と言うと無責任に聞こえるかもしれませんが、**避難所での集団生活は非常に過酷**なのは御承知の通りで、それを回避するには家屋を丈夫に補強する事が重要です。堤上独自の回覧**つつみかみ通信**は防災の知識が自然に蓄積される読み応えのある冊子です。災害で全損となり自宅に住めなくなったとしても、庭先で快適に暮らせる様、使い勝手の良いアウトドア用品の紹介など**防災の準備は意外と面白い！**と思っておもらえる様に勧めの商品を実演すると**こんな防災訓練は初めて！**是非またやって欲しいといった声が聞こえて参ります。



活動のポイント



これまでの防災訓練はつい避難所に集めがちですが、毎年同じ様な内容では飽きてしまい参加者数が伸び悩んでいます。堤上ではもっと現実的な活動として、普段から**つつみかみ通信**を読んでもらう事で防災の意識を年間を通し冷やさないという考えに改めました。更に屋外でのテント張り体験や、令和6年秋頃には初の多種類のテントと寝袋・ウレタンマットやコットを利用した**屋外での宿泊体験**を予定しています。夕飯はカセットコンロで作る災害時を想定したおいしい料理も企画しています。

防災と親睦の集い

地区名：海岸地区

組織名：東海岸南四丁目自主防災会

自治会加入世帯：502世帯

令和6年2月作成

活動内容

東海岸南四丁目では、自治会活動を通じて、地域のつながりを強化し、安心・安全で、楽しい地域作りを目指して、日々活動しています。

その中で、「夏祭り」や「餅つき大会」といった自治会のイベントに起震車の体験や防災資機材の取り扱い等の防災要素を加え、防災活動が身近なものに感じていただけるような取り組みを行っています。

こうした自治会活動を通じて地域住民同士の顔の見える関係性を構築することが大切だと感じます。

自治会イベントにお手伝いで協力いただいた方には、自主防災会や防災リーダーについてご紹介し、興味を持っていただいた方には、防災リーダーの推薦をさせていただきます。



活動のポイント



防災活動が難しいことや新たな担い手の創出に苦労することがあると思いますが、普段行っている自治会活動に防災活動を結びつけること。日常生活の中に防災活動があることが重要だと感じます。

また、自主防災会広報紙「みんなde防災」を発行し、自主防災会の活動を報告だけでなく、興味を持ってもらうことで、新たな地域の担い手の創出につなげています。

防災会本部における夜間停電訓練の実施

地区名：鶴嶺東地区

組織名：サニー防災会

構成戸数：集合住宅321戸＋戸建住宅26戸

活動内容

サニータウン茅ヶ崎は集合住宅エリア(11棟321戸)と戸建住宅エリア(26戸)の団地です。災害時は基本的に在宅避難を想定しており、団地内の管理事務所内に防災会本部を設置して、被災情報収集、最寄の避難所と連携、住民生活支援を行います。

(防災リーダー、自治会、民生委員、管理組合の協力体制)

令和5年11月の自主防災訓練では、夜間停電を想定して日没後に管理事務所のブレーカーオフにして真っ暗な環境でも防災会本部が機能できるよう実体験する訓練を実施しました。夜間停電用の資機材配置の確認、ポータブル電源やカセットガス式発電機を実際に稼働して、管理事務所入口、屋内ロビーと集会室の夜間照明の確保と、災害情報収集用としてパソコンやポータブルテレビ、FAX電話機などの接続確認を行いました。

防災会本部用の資機材と配置図は管理事務所の集会室の物入に保管しており災害時に備えています。



活動のポイント



災害はいつ発生してもおかしくないので、夜間停電対応として準備している各種資機材の実力を自主防災訓練の中で確認できたことは大変有意義でした。

ポータブル電源は騒音が無くAC100Vをすぐに供給できるので必要なところに配備しておくことが有効と感じました。カセットガス式発電機は騒音と排気ガスが発生するため、団地住民の在宅避難生活の中では特に夜間は迷惑となることからポータブル電源との使い分けが必要と思いました。

ポータブル蓄電池

地区名：茅ヶ崎南地区

組織名：中海岸自主防災会、共恵海岸通り自治会防災会、若松町幸自主防災会

活動内容/活動のポイント



中海岸自主防災会

- 内燃式の発電機は、騒音がうるさく室内で使用できないので、ポータブル電源を購入しました。
- 停電時、携帯の充電、パソコンの電源、照明器具、トランシーバーの充電、防災ラジオの電源等として使用するためです。
- 小型軽量（6 kg, 540Wh）なので持ち運びできます。



共恵海岸通り自治会防災会

- ガソリン式発電機が不便なので、ポタ電を最近購入しました。
- 蓄電容量1500Wh 3Way出力(AC,USB,DC)
- 充電時間：ACアダプタで約6.5時間
- 重量16kg
- 良いところは、①メンテナンスが楽、②燃料が不要、③音が静か、④停電時ソーラーパネルで充電できる。

若松町幸自主防災会

- 発災時、ガソリン・ガスボンベ等の燃料が手に入らなければ…太陽エネルギーをいただきましょう。ということで購入決定しました。
- Jackeryポータブル電源1500Whと4枚のソーラーパネルを購入してINput/OUTputの時間の検証をしました。晴時々曇り時に0%から10%になるのに1時間かかりましたが、蓄電しながら無線機等の充電が出来て効果を発揮しています。



お勧め

10WLED作業灯(単三電池4本使用)
24時間点灯し続けて3日間、明るさはそのまま！

停電時にポータブルバッテリーや投光器等を活用

地区名：鶴嶺西地区

組織名：プレシオ防災対策委員会

自治会加入世帯：163世帯

活動内容

コスモ茅ヶ崎プレシオは、163戸の11階建てマンションです。災害時は、基本（洪水時を除き）、集会所に本部を設置します。令和4年3月17日に東北地方の地震の影響で、マンション全戸で停電が発生しました。この時、集会所前の照明の確保やPCで情報収集するために、備蓄しているポータブルバッテリーや投光器等を活用しました。本部に関係者を招集したかったのですが、ドアフォンや携帯（通信不通）が繋がらなかったため、連絡手段が確保できませんでした。しかし、集会所に明かりを点灯したところ、明かりを頼りに、関係者が自主的に集合してくれたため、深夜に発災した際は、照明の確保が重要だと感じました。また、PCで情報収集した内容は、集会所に集まった住民に共有しました。



※写真は、R4.3月の停電時ではなく、訓練時のものです。

活動のポイント



コスモ茅ヶ崎プレシオでは、ガソリン式発電機も備蓄していますが、ポータブルバッテリーは、“誰でもすぐに使える”、“音が静か”、“室内でも使える”等のメリットがあるため、簡単な照明やパソコンでの情報収集に向いていると感じました。平常時は、ポータブルバッテリーを、公園の芝刈りやイベント時のホットプレート等に利用することで、いざというときに、スムーズに使用できるように備えています。

避難行動要支援者取組事例

地区名：鶴嶺東地区

組織名：T B S 自治会自主防災会

自治会加入世帯：600世帯、21組

活動内容

T B S では、自治会と防災リーダーが連携して取組を進めています。

◎行政から年2回支給の避難行動要支援者名簿をもとに、要支援者（自治会未加入者も含む）リストと組単位の地図に要支援者宅を明記しています。そしてこれらのリストと地図は、組ごとに自治会役員、組長、防災リーダー、民生委員の間で情報共有しています。

◎要支援者リストでは、要支援者毎に担当防災リーダーが明記されています。

◎毎月、T B S 自主防災会では活動課題の討議と上記要支援者リストのフォローアップを行なっています。

◎安否確認訓練時には、組長と防災リーダーがセットになり、要支援者宅を訪問し、現況のヒアリングを行っています。

◎防災活動のポイントとしては、災害時の避難支援に備えて、日常の要支援者の見守りを含めて、近隣同士の助けあい（近助）が大変重要であるとの認識で日常の近隣同士の顔の見える関係の構築を更に図りたいと考えています。



防災訓練時の自治会役員・防災リーダー・民生委員合同での安否情報共有風景

こどもたちへの防災啓発

地区名：浜須賀地区

組織名：茅ヶ崎トラストチーム

活動内容

イベントにちょこっと防災「浜っ子パーク」を開催

4月…校庭で遊ぼう 宝探し&おにごっこ

6月…砂場遊び

9月…お月見

12月…しめ縄作り&持ち寄り鍋

「地区防災訓練」

11月…体験イベント



活動のポイント

五感を使った遊びの中から 体験すること、自分で考えること、協力することなどを子どもたちが身につける活動を企画・運営しています。活動の中には少しずつ防災を意識した内容を組み込んでいます。子どもたちだけでなく、大人も一緒に参加すること、その場に集まった見知らぬ人同士で協力したり、ちょっと知ってる人というゆるいつながりこそが、いざという時には必要なことなのではないかと思っています。



令和5年度

2 防災活動事例追加募集

1 自主防災組織として活動していること

(1) 住民意識活動

| | | |
|---|--------------|---------|
| 1 | 他のイベントと合同でPR | 萩園自主防災会 |
| 子ども、大人が集う”萩園ふれあいの日”の中で豚汁調理、保存非常食試食の炊き出し訓練を実施。来場者への防災資機材の紹介等を行いコミュニケーションを図る。 | | |

| | | |
|--|-----------------|-----------------|
| 2 | 横浜市民防災センター研修ツアー | 茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会 |
| 防災知識・技能の向上と親睦を目的として、貸切バスを使い茅ヶ崎南地区の6自主防災組織に所属する防災リーダーと防災関係者30名で、水災害、地震・火災体験ツアーの研修を受けました。 研修後は中華街で昼食を取りながら親睦を深めました。 | | |

| | | |
|--|-------|-----------------|
| 3 | 防災講演会 | 茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会 |
| 防災意識・知識の向上を目的に毎年実施しています。今年は関東大震災から100年になることから、「いつか来る大地震に備えて」をテーマに、防災対策課の中山氏、渡部氏に講演をしていただきました。参加者30名。関東大震災時の茅ヶ崎の被災状況や地震への日頃の備え・被災時の対処法等を学びました。自分を守り被害を少なくするためには、何が必要なのでしょうか。個々の意識が大切です。 | | |

(2) 訓練・研修

| | | |
|---|--------------|-------------|
| 4 | 防災訓練事前説明会の実施 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 浜之郷自治会自主防災会は毎年、防災訓練に先立ち鶴嶺小学校体育館に於いて班長・組長・防災グループ長・防災リーダー・及び自治会役員を集め自助・共助の啓蒙活動も含め防災訓練事前説明会を開催しています。 | | |

| | | |
|---|---------------|-------------|
| 5 | 安否確認をグループ制で実施 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 災害時の安否確認をより早く出来る事や普段からのコミュニケーションが取り易いなど班・組の単位から更に世帯数を減らしたグループ制を取っている。 | | |

| | | |
|---|------------|-------------|
| 6 | 安否確認シートの作成 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 浜之郷自治会自主防災会は、安否確認の集計時間短縮と成果物である安否確認世帯数・世帯人数・3歳以下及び要支援者数など最終シートに反映されるシートを作成しました。 | | |

| | | |
|---|-----------------|--------|
| 7 | 防災会本部の夜間停電対策の訓練 | サニー防災会 |
| 防災会本部レイアウトにおいて、ポータブル電源に、ワンセグTV、防災ラジオ、FAX 電話機、NTT、ひかりルーター、ノートPCを接続して、停電時に情報収集できることを確認している。カセットガス式ポータブル発電機でLED 投光器を稼働して管理事務所内と周辺の照明を確保、各種置型LED ライトでトイレなど生活空間の照明を確保して、夜間停電時でも防災会本部として活動できることを実際に体験して確認している。また防災リーダー全員にLED ヘッドライトを貸与しており夜間行動に備えている。 | | |

(3) 広報・情報共有

| | | |
|---|-----------------------|--------------|
| 8 | 防災意識啓発のための「防災通信」を継続発行 | 浜須賀自治会自主防災組織 |
| 自治会独自で2014年より発行している「防災通信」を、令和5年度は4回発行しました。5月「39号自治会総合防災訓練のお知らせ第2弾」、6月「40号総合防災訓練の報告」、9月「41号どうするペット防災」、12月「42号地区防災フェアの報告」（予定）などカラー版で見易く、訴求力を留意しました。 | | |

(4) 組織力の向上

| | | |
|--|----------------------|-------------|
| 9 | 防災関連設備を記入した全戸配布地図に協力 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 浜之郷自治会自主防災会は鶴嶺東地区まちぢから協議会防災減災部会に協力し街頭消火器位置・防災倉庫位置・移動ホース格納箱位置・AED 設置場所などを地図に落とし込む作業に協力し地図全戸配布に繋がった。 | | |

| | | |
|---|---------------|----------|
| 10 | TBS自主防災会組織の構成 | TBS自主防災会 |
| TBS自主防災会は、TBS自治会長の下に次の二つの組織があり、相互に連携して活動している。1つは、TBS自治会防災担当副会長、防災部長・組担当役員・組長であり、もう一つは、防災リーダー会である。 | | |

| | | |
|--|----------|---------|
| 11 | 防災資機材の充実 | 萩園自主防災会 |
| ガソリン不足のリスク回避のため、ガス式発電機2台を購入。安否確認用タオルを購入。全会員に配布。1月4日安否確認訓練で使用 | | |

| | | |
|-----------------------------|--------------|-----------------|
| 12 | 消火器設置箇所確認と点検 | 芹沢ひかりが丘自治会自主防災会 |
| 防災担当者が交代のため、消火器設置箇所と点検を行った。 | | |

(5) 要支援者

| | | |
|---|-------------------------|----------|
| 13 | 避難行動要支援者の対象者リスト及びマップの作成 | TBS自主防災会 |
| 自治会長は、年に2回行政から入手した要支援者リストを組ごとに、防災部の協力を得て、マップに展開し防災リーダー会代表と組長に限定して手渡す。防災リーダー会代表は、防災リーダー全員に、要支援者全員を対象に組ごとに担当割り振りリストを作成している。そしてこのリスト・マップは、日ごろの見守りや災害訓練時や災害時に役立てる計画である。 | | |

| | | |
|--|----------------------|--------------|
| 14 | 避難行動要支援者の支援環境づくりの再強化 | 浜須賀自治会自主防災組織 |
| コロナ禍で中断していた要支援者の支援体制を再始動するため、和5年3月及び8月更新名簿に基づき、登録者宅地域の支援者マップ再作成、及び新規登録者の近隣住民に防災ボランティアと民生委員が訪問、協力依頼（文書添付）を実施しました。また登録者58世帯に防災救援ホイッスルを無償配布し、災害時の自助対応の啓発を行いました。 | | |

2 防災リーダーとして活動していること

(1) 意識啓発活動

| | | |
|--|---------------|-------------|
| 1 | 安否確認シートのPR 活動 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 鶴嶺東地区合同防災訓練で浜之郷の安否確認シートの仕組みを他の自治会関係者に配布し活動を広く理解して貰う。 | | |

(2) 訓練・研修

| | | |
|---|----------------------|-------------|
| 2 | 浜之郷地図を用いたイメージTEN の演習 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 架空の地図を使用するのではなく実際の浜之郷地図に防災関連施設を記入し、人材や機材も実際に登録されているものを利用しイメージでなくよりリアルな演習とした | | |

| | | |
|---|-----------------------|-----------------|
| 3 | 茅ヶ崎小学校防災倉庫内資機材取扱い夜間研修 | 茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会 |
| 令和5年11月に実施予定でしたが雨天延期になり、令和6年1月に実施予定。極寒の夜の停電を想定して、発電機を使用してバルーン投光器下で作業。暗さ、寒さ等を体験して今後の活動につなげていきます。 | | |

(3) 防災資機材に関すること

| | | |
|--|-----------------|-------------|
| 4 | トランシーバー基地局の2 分化 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 災害本部である自治会館が被災した場合を想定し高層で頑丈なマンションに住む自治会役員宅にトランシーバーを置き本部基地局併用とした。 | | |

| | | |
|---|------------------|-------------|
| 5 | 防災倉庫周辺整備を含めた定期点検 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 防災倉庫内の定期整備に合わせ倉庫周辺の草刈りや防草シート修復など倉庫周辺整備に合わせ行っている。ウレタン使用の車いすタイヤの硬化の発見や雑草枯草など不審火による倉庫類焼防止などに努めている。 | | |

| | | |
|---|-----------|---------|
| 6 | 防災設備の定期点検 | 萩園自主防災会 |
| 移動式格納ホース箱（全18カ所）の設置状態の点検を行い、また、防災資機材の棚卸しを地区委員と協力して実施している。 | | |

(4) 組織力の向上

| | | |
|---|-----------------------------|----------|
| 7 | 防災リーダー会の年間活動計画を作成。毎月定例会を開催。 | TBS自主防災会 |
| 月例会のメンバーは、自治会会長、防災リーダー、自治会副会長・防災部長、民生委員である。 | | |

| | | |
|---|------------|----------|
| 8 | 楽しいイベントを企画 | TBS自主防災会 |
| TBSふれあい祭りでは、防災活動に関する子どもにも理解出来る楽しい解説図を作成・展示するとともに、ビニール袋の手作りのカッパや新聞紙スリッパ等をワークショップで作製し、防災活動を紹介した。今後は、時期を見て防災に特化して、昔のように、自治会員に対し、防災関係の展示・説明等を広く行うイベントの開催を計画したいと考えている。 | | |

| | | |
|---|--------------------|---------|
| 9 | 年度初め防災リーダー情報交換会を開催 | 萩園自主防災会 |
| 年間活動計画を作成して、防災リーダーとして活動スケジュールを確認し合うことが出来、また、コミュニケーションを図ることが出来た。 | | |

| | | |
|---------------------------------|---------|-----------------|
| 10 | 防災マップ作成 | 芹沢ひかりが丘自治会自主防災会 |
| 自治会地域内の危険箇所を調査し、マップを作成して災害に備える。 | | |

(5) 要支援者に関すること

| | | |
|---|-------------------------|----------|
| 11 | 要支援者のリストに沿った対応を具体的にフォロー | TBS自主防災会 |
| 自治会長から開示された要支援者リストに基づき、防災リーダー会代表は、防災リーダー全員が、組ごとに分担して、各要支援者に張り付けリストを作成する。各防災リーダーは、要支援者の日ごろの動向をウォッチするとともに、防災訓練では、組長とセットになり、要支援者全員の安否確認を行っている。現在、水災害の時に指定の避難所まで行くことが出来ない人に対し、2階への垂直避難に関する課題と対応を研究中である。 | | |

3 整備している資機材に関すること

(1) 維持管理

| | | |
|---|--------------------|-----------------|
| 1 | 防災倉庫に人感センサーライト取り付け | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 夜間災害発生時に防災倉庫内が暗い為、人感センサーライトを取り付けた。屋外ソーラーパネル電源は悪戯されるので電池式とした。 | | |
| 2 | 防災倉庫の棚増設 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 年数が経つにつれ資機材が増えて既設の棚では収まらなく床置きになっている。取り出しが困難になるので市販の棚を購入し機材取り出しを簡単にする為、棚の増設整備している。 | | |
| 3 | 整備している資機材のこと | TBS自主防災会 |
| 大きな防災資機材は、ほぼ揃っている。2023年度は防災訓練用ブルーシート11枚を一部費用に関し、補助金をいただき更新した。2024年度は防災訓練用のテントの天幕の一部が破損しているのと、天幕の材質が劣化して雨漏りがしているので、雨漏りしない材質の天幕に取り替えたいと考えている。 | | |
| 4 | リストに基づき整備点検 | 芹沢ひかりが丘自治会自主防災会 |
| 防災資機材の動作確認をする | | |

(2) 本部活動用資機材

| | | |
|--|------------------|-------------|
| 5 | 避難所スマホ充電対応 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 災害停電時や避難所環境内でポータブル電源にUSBハブを接続しUSBポートを増やし更にスマホ充電器プラグiPhone・Aタイプ・Cタイプ機種対応する多機種プラグを組み合わせ多人数対応と多機種スマホ充電プラグに対応させた。 | | |
| 6 | 書画カメラの活用 | 浜之郷自治会自主防災会 |
| 書画カメラを使用し自治会防災資料説明や防災訓練事前説明会など紙での資料とスマホ画面などを映しパソコンなしで利用している。 | | |
| 7 | 防災会本部での生活用の資機材備品 | サニー防災会 |
| 防災会本部としてライフライン停止している中でも活動できるよう、管理事務所に生活用の資機材備品を拡充している。カセットガス式ストーブ、高出力カセットコンロ、大容量やかんと大なべ、保温エアポット、大型クーラーボックス、折りたたみ便器椅子、密閉型ゴミ箱、コック付ポリタンク、ポータブル電源600W、ポータブルソーラーパネル100W、ワンセグポータブルテレビ、など | | |
| 8 | 防災機材の定期点検 | 萩園自主防災会 |
| 非常用発電機（4台）について2か月に1回、起動チェックを実施 トランシーバー（所有者12名）の交信テストを2か月に1回実施し、感度チェックを行っている。 | | |

(4) 生活支援用資機材

| | | |
|--|-----------------|---------|
| 9 | 保存非常食の在庫チェックと補充 | 萩園自主防災会 |
| ごはん類、菓子類について賞味期限切れ間近な物品を地区委員に配布するとともに不足分を補充している。 | | |

4 コロナ禍での取り組み、工夫したこと

(1) 感染症対策への取り組み、工夫したこと

| | | | |
|---|--------------|-----------------|---|
| 1 | コロナ禍中の活動とその後 | TBS自主防災会 | コロナ禍期間中は、TBS自治会館会議室が使える限り、感染者数等を鑑み防災リーダー各自の意見をもとに毎月の定例会を実施してきた。今後は、各方面の防災活動（防災備品の展示・訓練や防災講座の開催等）を積極的に行っていきたいと考えている。 |
| 2 | 連絡網の整備 | 萩園自主防災会 | 防災リーダーの在籍者を確認し、名簿を整備した。連絡網を使って連絡訓練を行った（連絡ツールは電話） 今後、グループライン化を検討して行く予定。 |
| 3 | 安否確認 | 芹沢ひかりが丘自治会自主防災会 | 隣接の家と安否確認の取り決めをしておくことをイベント等で話した。 |
| 4 | マスク、消毒液 | 茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会 | 備えあれば患いなし。新型コロナウイルス感染症が5類になりましたが、油断は禁物として常時備えています。 |

参考資料

1 3 地区まちぢから協議会等位置図



※1 区域線については、一部不整合のところがあります。

※2 湘北地区のみ自治会連合会。

茅ヶ崎市内の自主防災組織（135組織）

| | | | | | | |
|-------------|---------------|-----------------|-----------------|-------------|-----------|-----------|
| 茅ヶ崎地区 19 | 本町第一 | 湘南地区 8 | 中島 | 松浪地区 14 | 浜竹一丁目 | |
| | 本町第二 | | 柳島 | | 浜竹二丁目 | |
| | 本町第四 | | 松尾 | | 浜竹三丁目 | |
| | 茅ヶ崎グリーンハイツ | | 浜見平団地 | | 浜竹四丁目 | |
| | パークタウン茅ヶ崎 | | 松風 | | 松浪一丁目 | |
| | パークタウン茅ヶ崎第二住宅 | | エクシード茅ヶ崎 | | 松浪二丁目 | |
| | 元町第一 | | ベルパーク湘南茅ヶ崎 | | 富士見町 | |
| | 元町第二 | | グランヴェアグ茅ヶ崎 | | L G 富士見町 | |
| | 新栄町第一 | | 常盤町 | | | |
| | 新栄町第二 | 円蔵 | 緑が浜 | | | |
| | 十間坂 | 矢畑 | 汐見台 | | | |
| | 矢畑南 | 西久保 | 出口町 | | | |
| | ニューライフ | 浜之郷 | ひばりが丘 | | | |
| | 茅ヶ崎グランドハイツ | 下町屋 | 美住町 | | | |
| | 藤和茅ヶ崎ハイタウン | T B S | 三が丘 | | | |
| | 藤和ハイタウン湘南茅ヶ崎 | サニータウン茅ヶ崎 | 菱沼南部 | | | |
| | パークスクエア湘南茅ヶ崎 | ホームタウン茅ヶ崎 | 菱沼海岸緑 | | | |
| | レクセルマンション茅ヶ崎 | ライオンズ茅ヶ崎ザ・アイランズ | 平和町 | | | |
| | ザ・パークハウス茅ヶ崎 | | 松浜 | | | |
| 茅ヶ崎南地区 6 | 若松町幸 | 鶴嶺西地区 10 | 萩園 | 浜須賀地区 12 | 松須賀 | |
| | 共恵中央 | | 新田 | | 浜須賀住宅 | |
| | 共恵東 | | 今宿 | | 翠松会 | |
| | 幸町 | | 今宿グリーンハイム | | 菱沼海岸 | |
| | 共恵海岸通り | | コスモ茅ヶ崎プレシオ | | 松濤会 | |
| | 中海岸 | | 萩園サンハイム | | 松が丘ハイツ | |
| 海岸地区 12 | 東海岸北一丁目 | 松林地区 9 | ライオンズマンション茅ヶ崎第三 | | 湘北地区 7 | 甘沼 |
| | 東海岸北二丁目 | | リステージ茅ヶ崎ツインマークス | | | 香川 |
| | 東海岸北三丁目 | | 菱沼 | | | 松風台 |
| | 東海岸北四丁目 | | 室田 | | | 鶴が台団地 |
| | 東海岸北五丁目 | | 上赤羽根 | | | 鶴が台一街区 |
| | 東海岸南一丁目 | | 中赤羽根 | | | ライトタウン茅ヶ崎 |
| | 東海岸南二丁目 | 下赤羽根 | みずき | | | |
| | 東海岸南三丁目 | 高田 | 堤上 | | | |
| | 東海岸南四丁目 | ニュータウン茅ヶ崎 | 堤下 | | | |
| | 東海岸南五丁目 | ショクサンピラ | 下寺尾 | | | |
| | 東海岸南六丁目 | オクトス湘南茅ヶ崎 | 行谷 | | | |
| | パシフィックガーデン茅ヶ崎 | 新宿 | 芹沢西部 | | | |
| 南湖地区 6 | 茶屋町 | 小和田地区 6 | 本宿 | 小出地区 17 | 芹沢久組 | |
| | 鳥井戸 | | 赤松町 | | 芹沢中部 | |
| | 上町 | | 赤松 | | 芹沢東部 | |
| | 中町 | | 菱沼小和田 | | 二本松 | |
| | 下町 | | プランヴェール湘南茅ヶ崎 | | 八王子原 | |
| | 新南湖 | | | | 芹沢ひかりが丘 | |
| | | 芹沢清水台 | | | | |
| | | 湘南ライフタウンB地区茅ヶ崎 | | | | |
| | | 湘南ライフタウンF地区茅ヶ崎 | | | | |
| | | 湘南ライフタウン羽根沢第一住宅 | | | | |
| | | やよい会 | | | | |
| | | 芹沢細谷紺谷村 | | | | |

本事例集を作成するにあたり、防災活動事例の募集にご協力いただきまして
ありがとうございました。

この事例集を参考に、地域の防災活動がより促進されることを期待しています。

防災活動事例集

発行日 令和4年3月 初版

令和6年3月 更新

発行 茅ヶ崎市

編集 暮らし安心部 防災対策課

電話 0467-81-7127 (直通)

メール bousai@city.chigasaki.kanagawa.jp